

石立  
替古

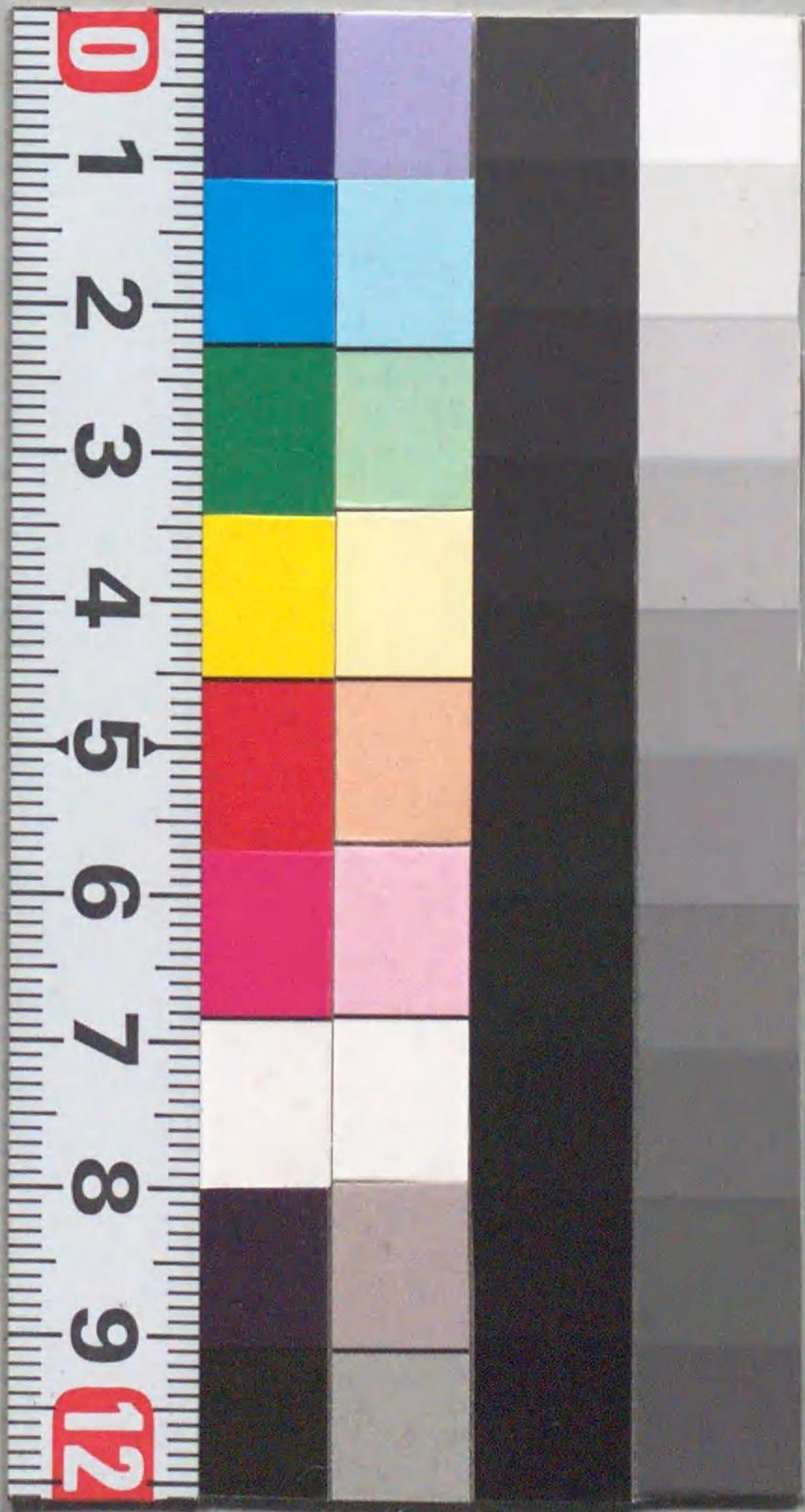
置其自在

眼部因淑著述  
八目置之部

九

795.

H3380

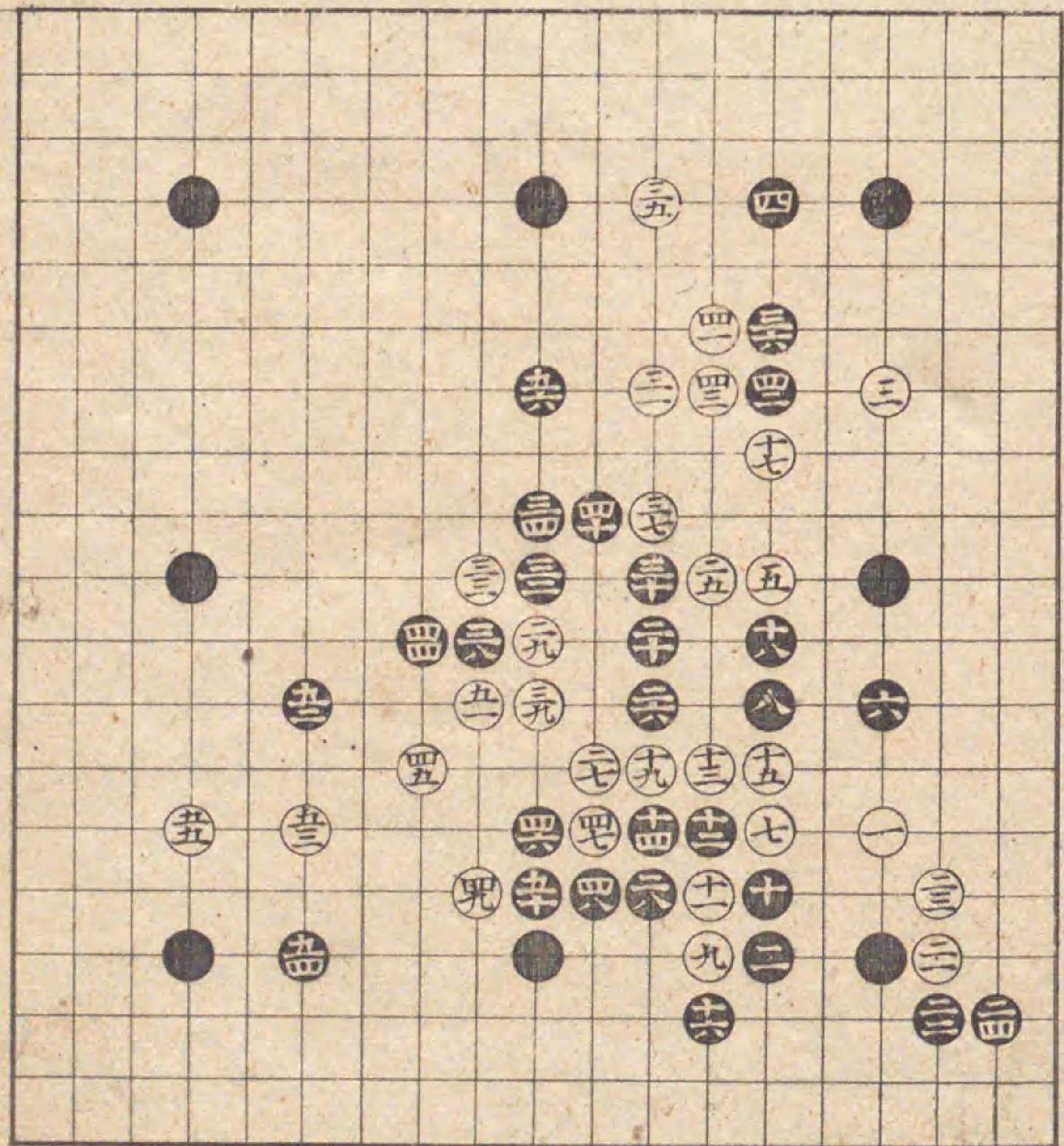




795  
H3380  
(10)

置碁自在

白一同三と打時如是  
一間飛小二の手四の  
手打事紛れちくとして  
吉必勝の形也  
六吉  
八吉  
十八吉  
三十六吉



◎置碁自在  
八目置之部  
〇一  
方圓書局

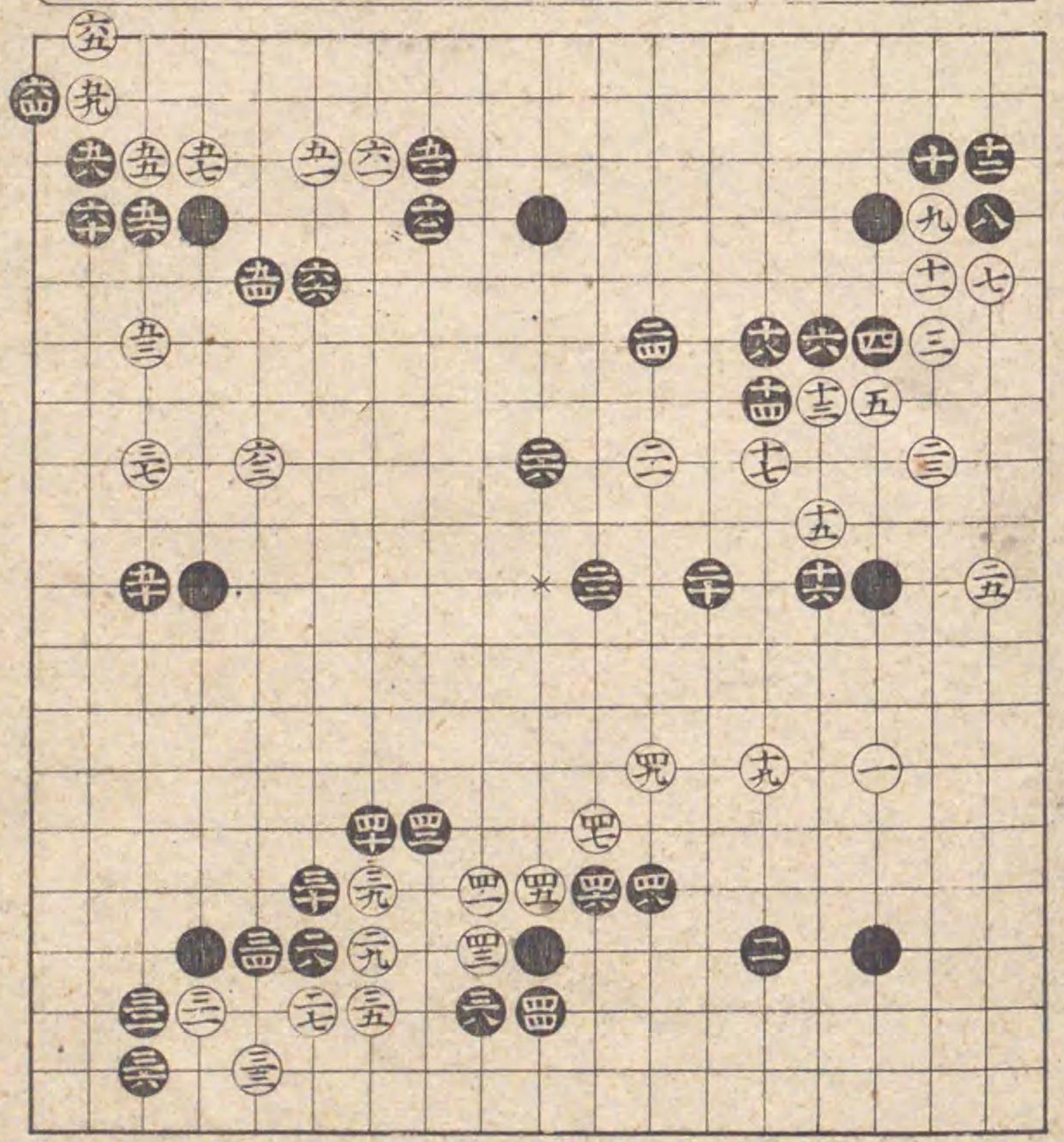


贈  
瀨越田碁文庫  
殿

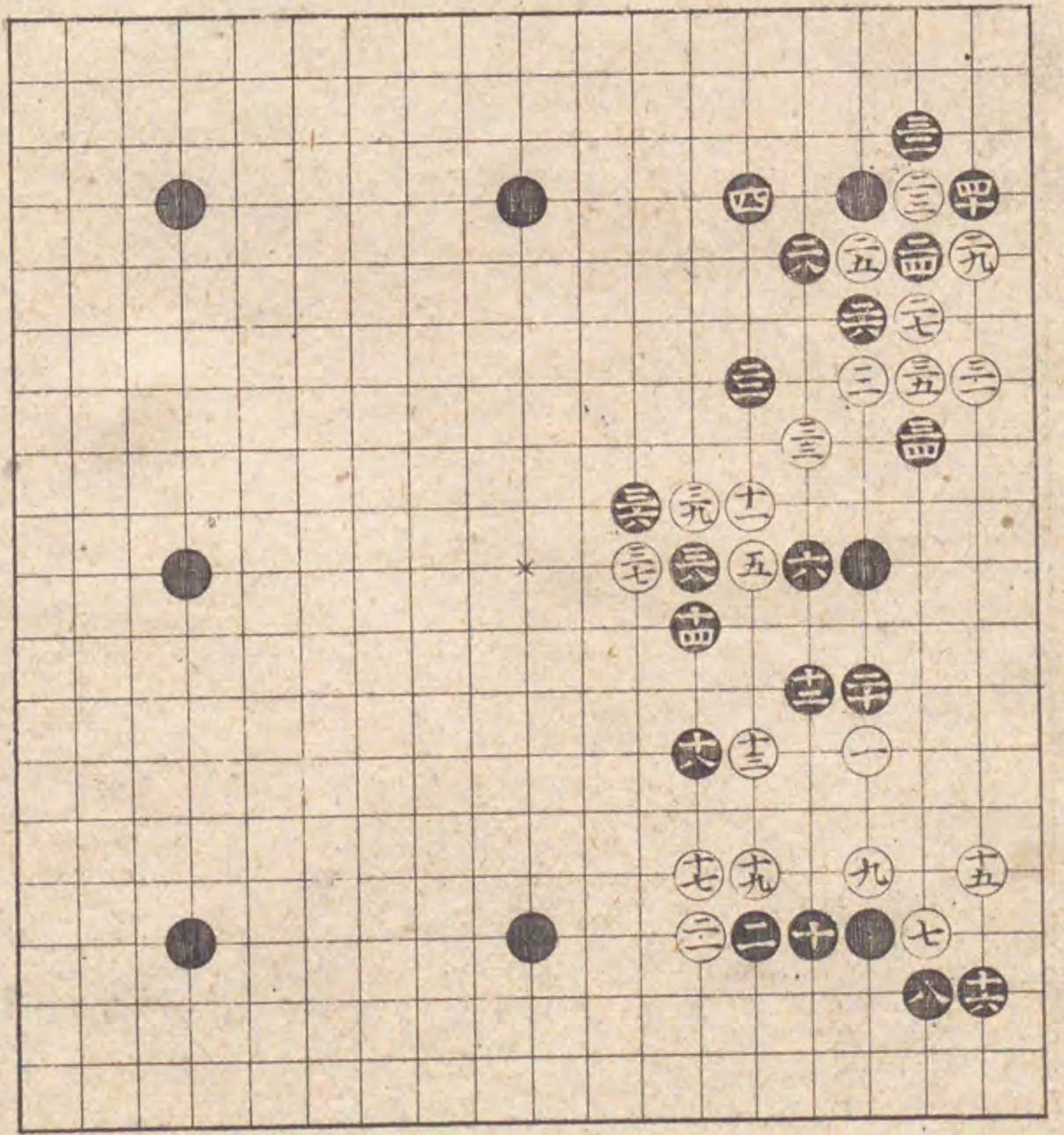
617163



如此上を打白を下へ  
 打せ大位成てハ白よ  
 り可打趣向ちく大小  
 よし黒必勝の形之替  
 次不ちるす  
 十八吉  
 二四吉  
 二六吉  
 五十吉  
 六六吉

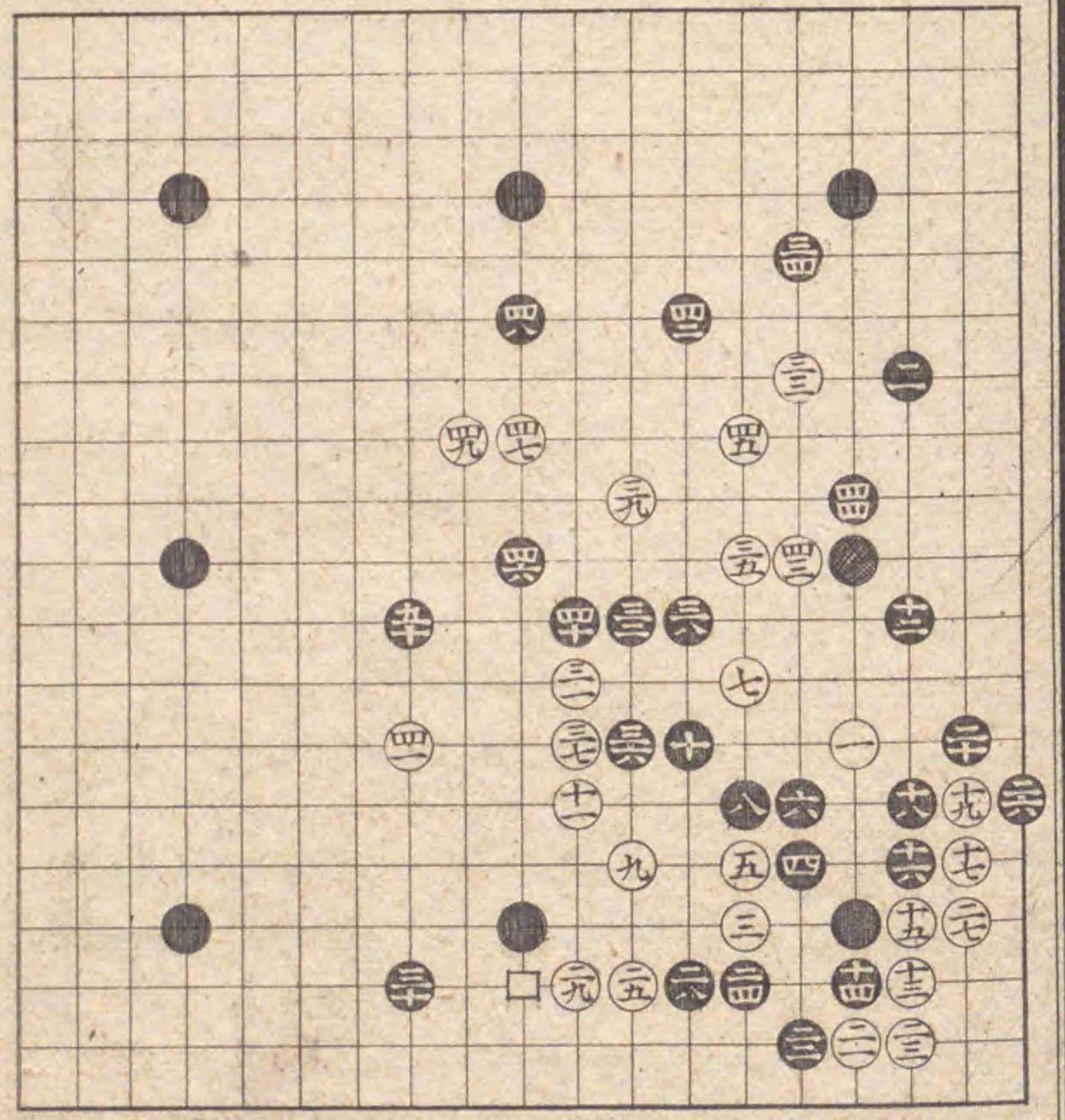


黒十四桂馬小打事毎  
 度出る形之考へ見る  
 べし如是ちりてハ紛  
 ちま形之黒六よし左  
 右へ飛趣向ちり是ハ  
 能出る形なり心得べ  
 し  
 十八吉  
 粘

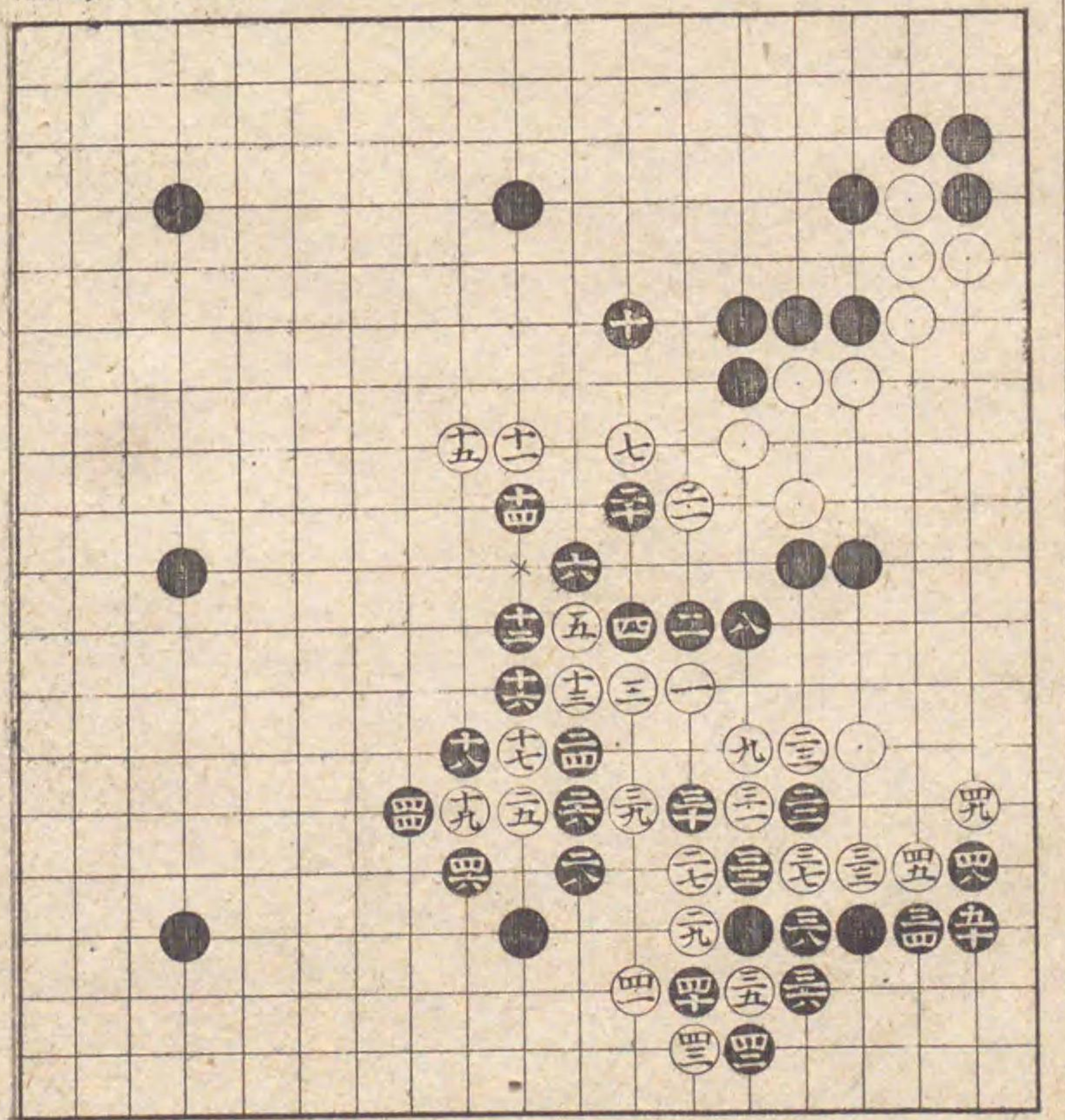




白二九と如此打時急  
 小口印へ打て八角へ  
 廣る悪し三十と如此  
 うつ吉心得見べし三  
 四角のち返り小もち  
 り三三乃白手の請小  
 も吉  
 四六吉  
 四八吉

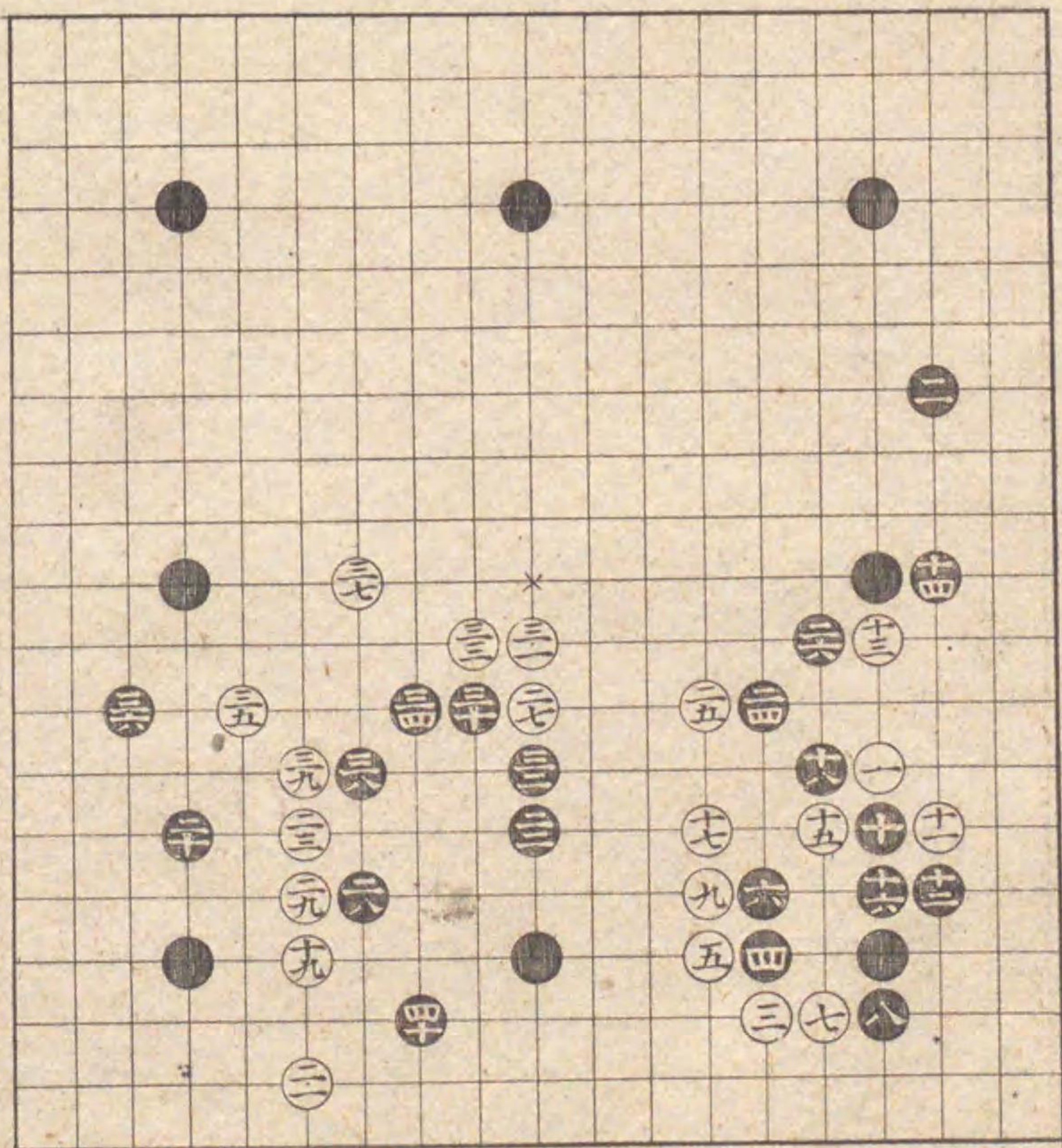


前番白十九乃手ぞり  
 替る  
 如是替りても黒大不  
 吉必勝の形こ  
 要劫とら

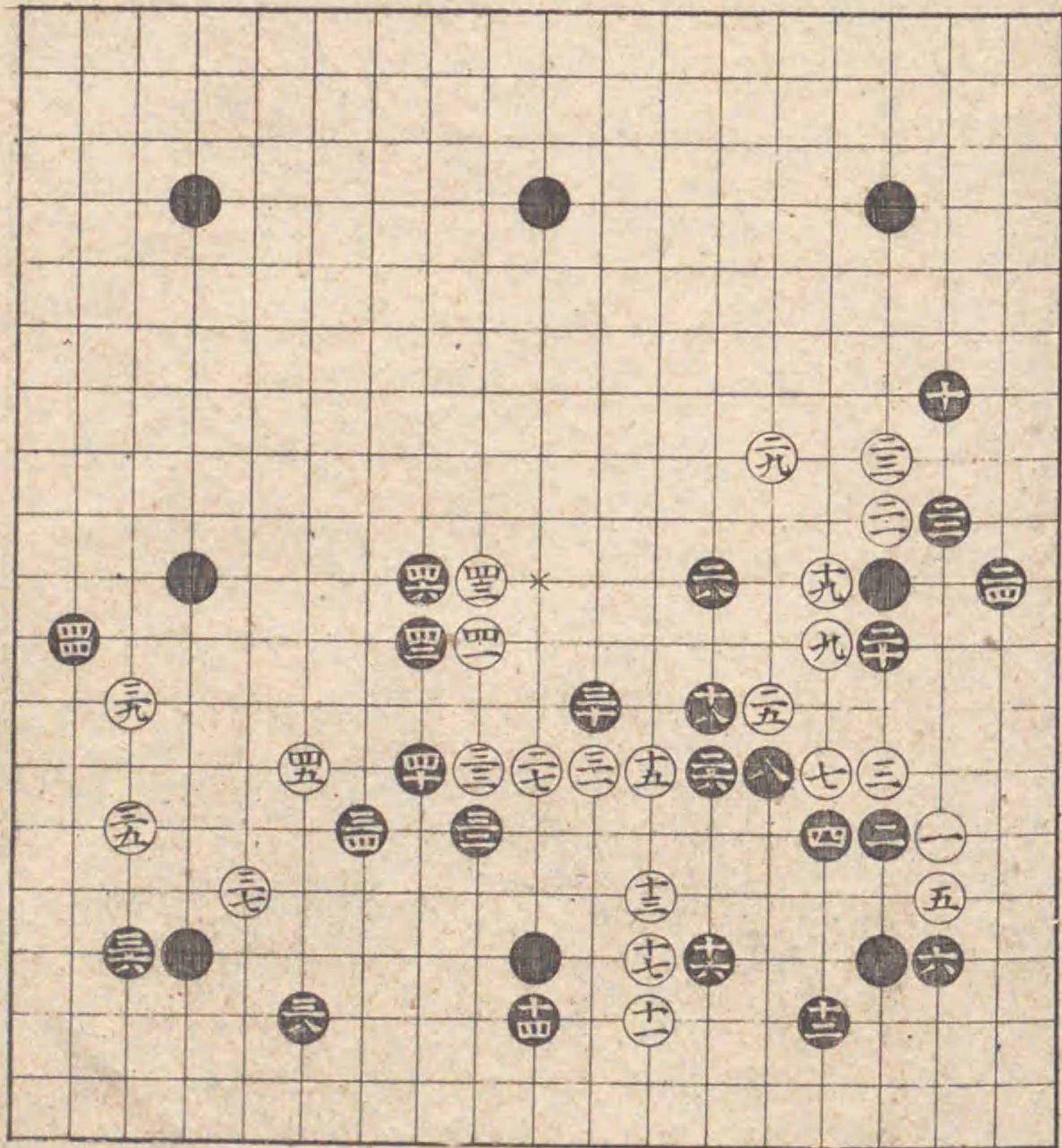




此石立一向紛ちく必  
勝乃形なり  
二四吉  
二六吉

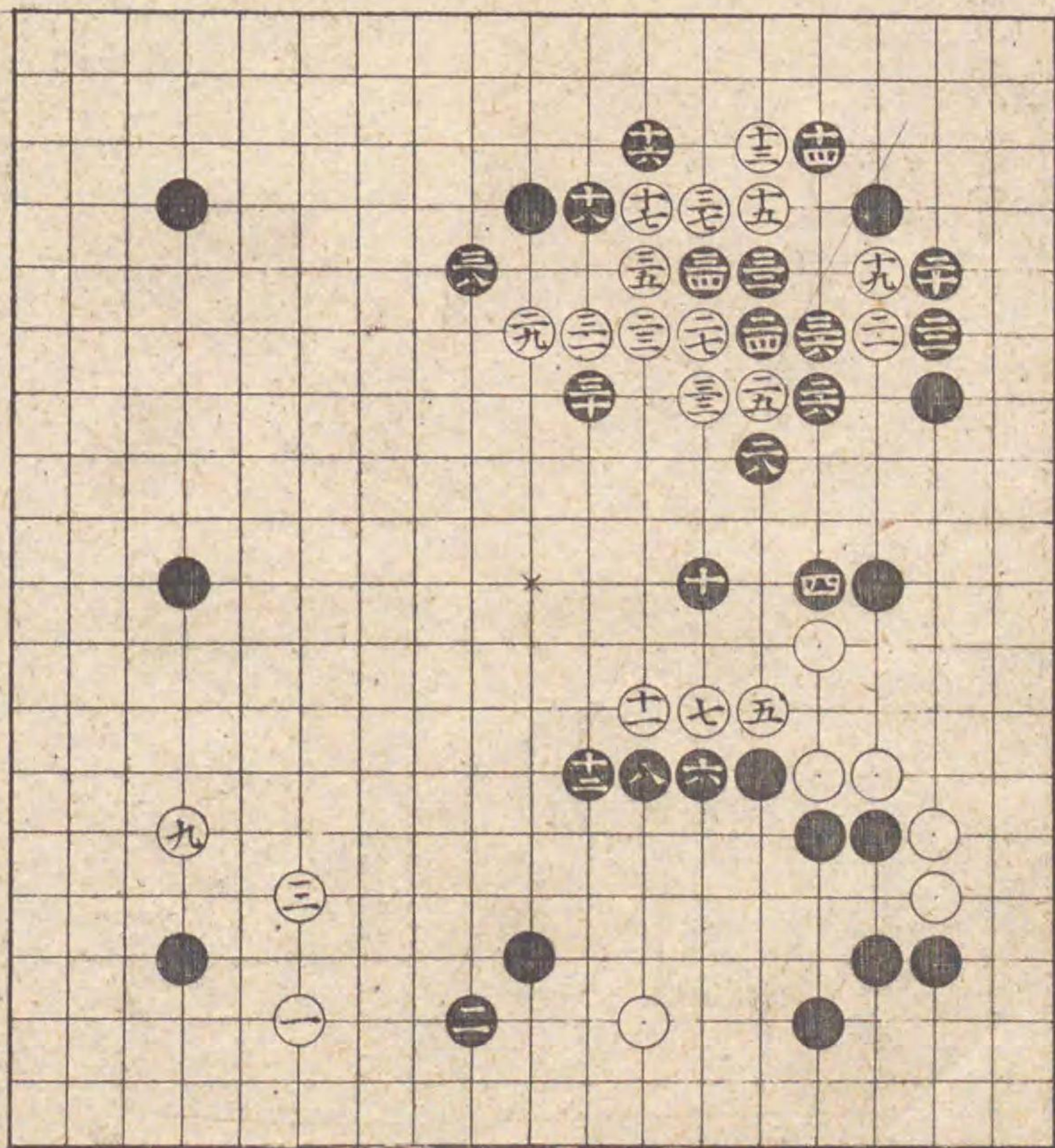


黒十八乃手二十と如  
此打趣向之心得見べ  
し必勝の形之替次小  
記之  
四二吉  
四四吉  
四六吉

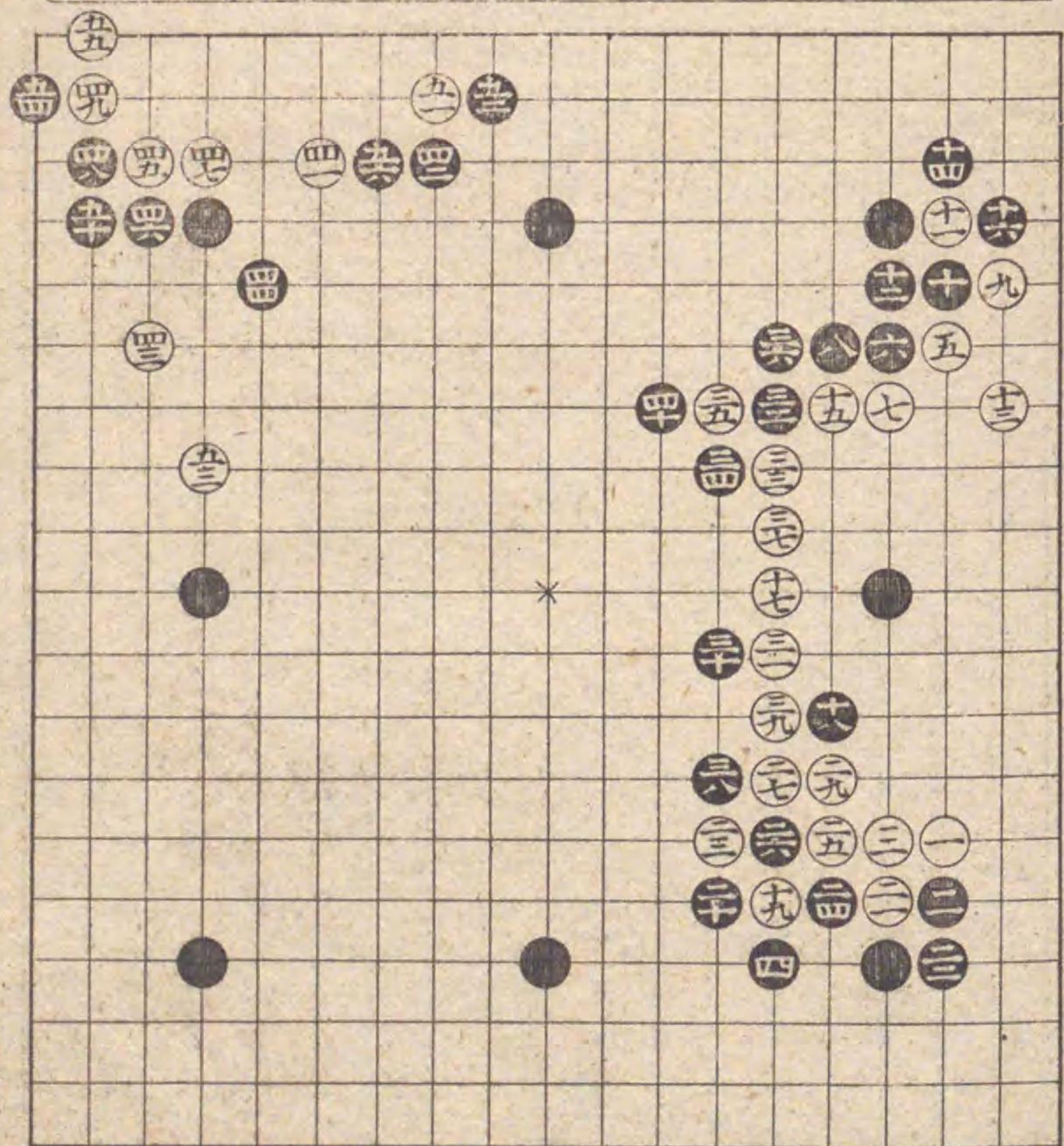




前番白十三乃手より替る  
 黒十の手有故別て十四十六乃手吉如是黒堅く成てハ白より趣向なし必勝の形ニ  
 二吉  
 十吉  
 三八吉

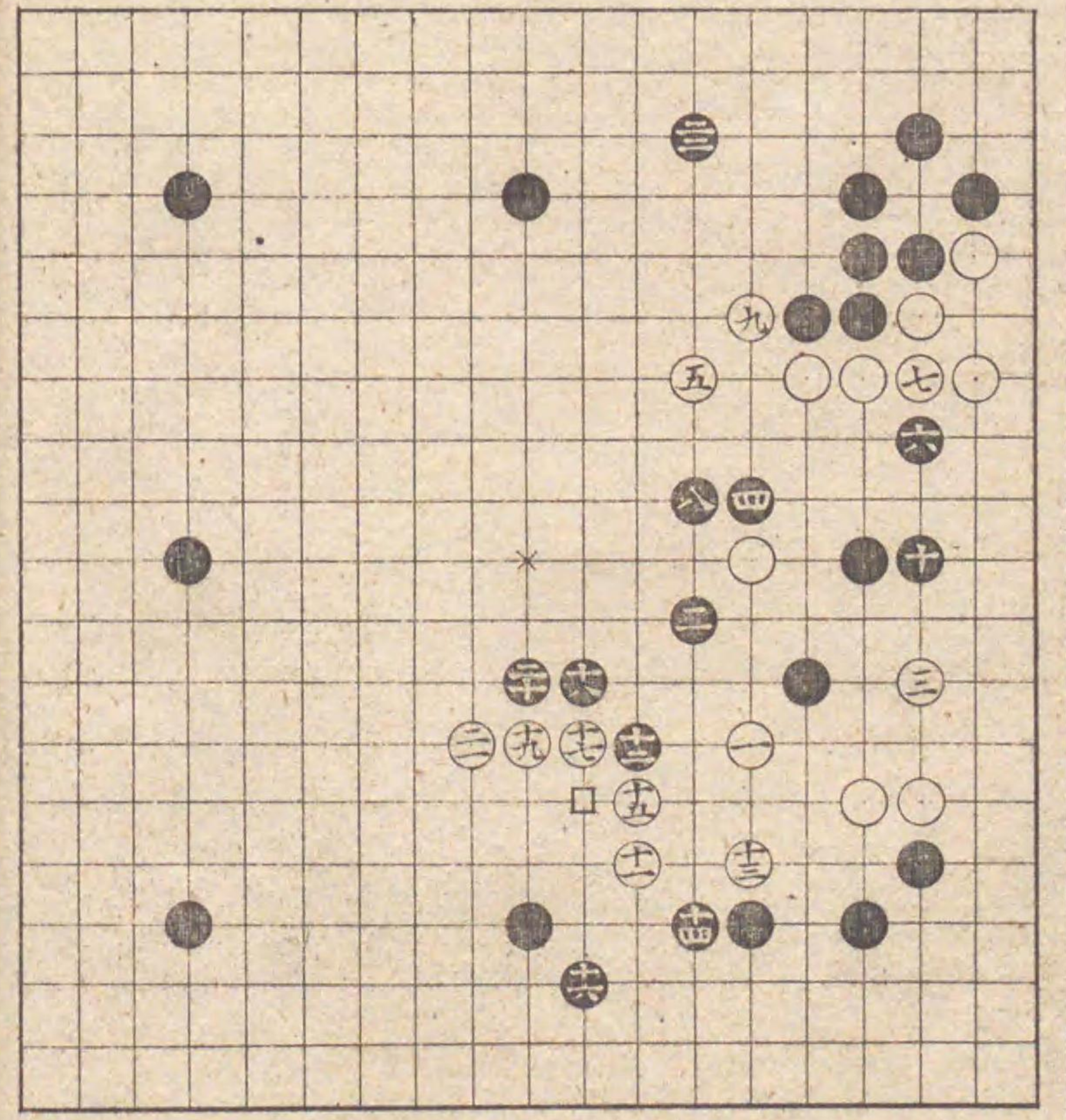


白地合を打ハ如是左  
 右よりよせ黒大位小  
 ちり大小打吉四四如  
 何の手ちれとも如此  
 打ハ大小吉必勝の形  
 ちり替次小記之  
 粘

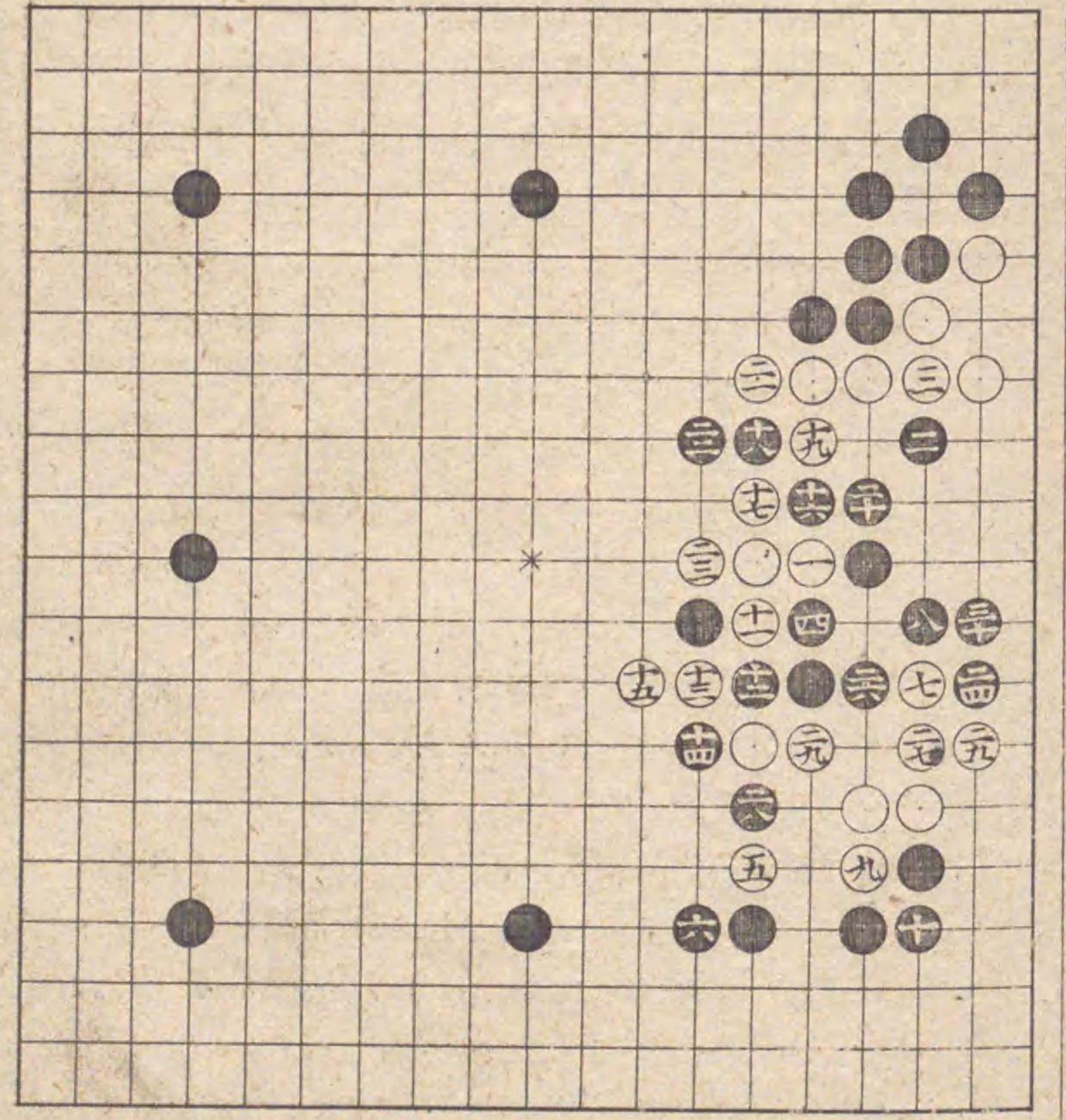




前番白十九の手より替る  
 黒二の手前云ふ手筋あり如此成ても黒紛ちし白十一の時口印へ桂馬に打も替り次小記す

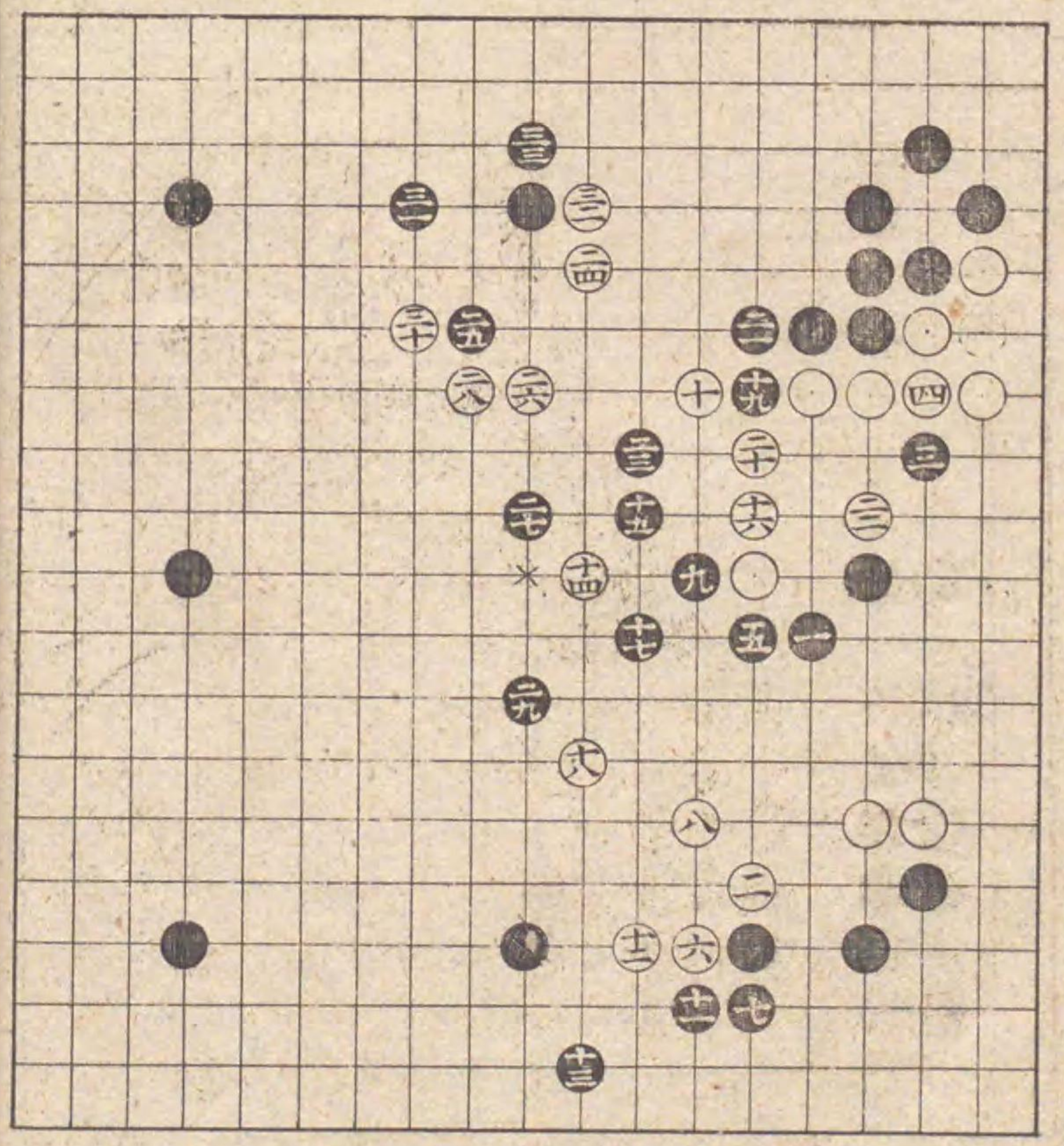


前番白三乃手より替る  
 如是ありても必勝之替次小記之  
 六吉

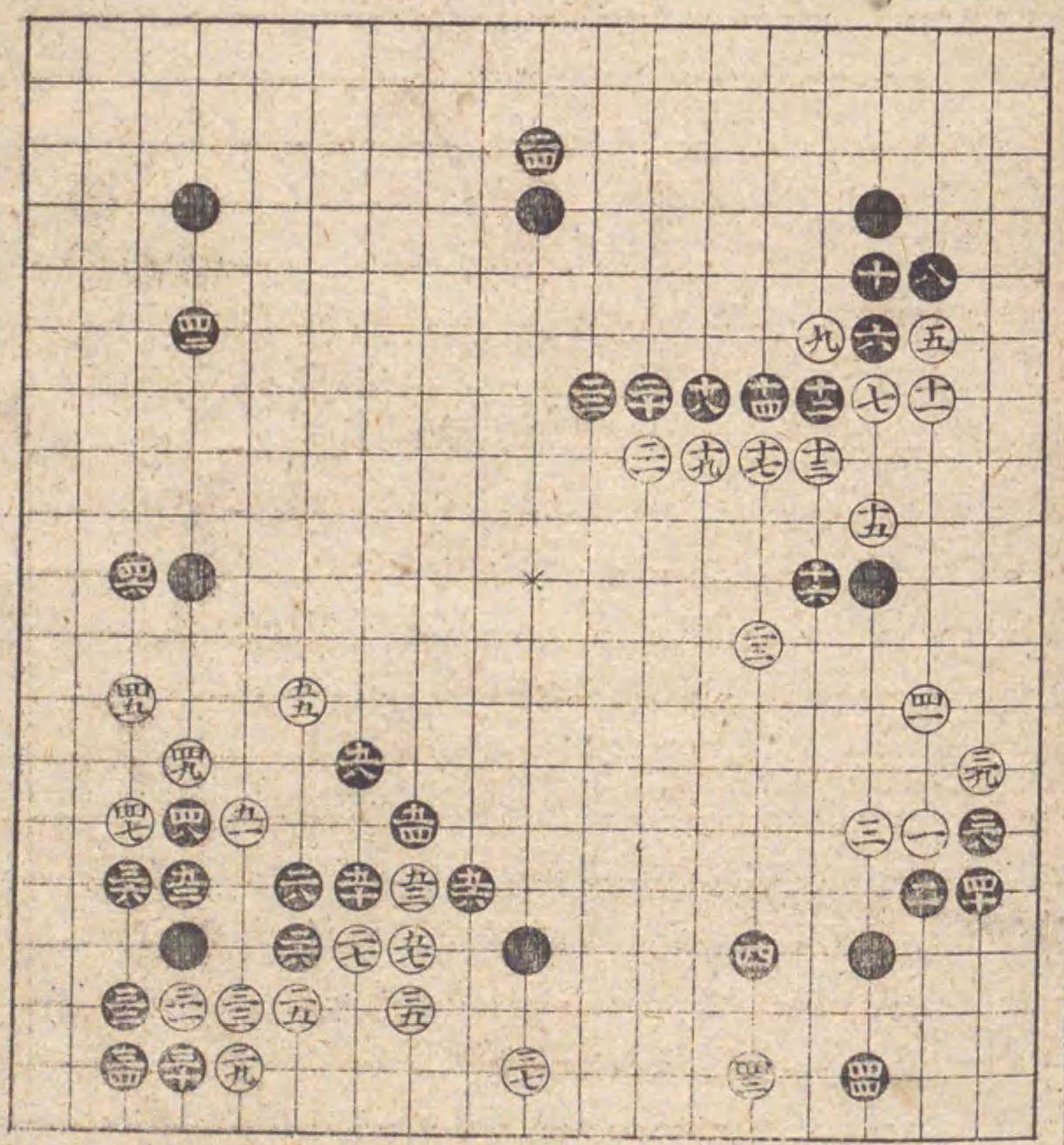




本番黒十八の手より替る  
 如是一と打五と打ても吉二九三一軽くして大小吉心得見るべし心勝の形あり  
 十九吉  
 二三吉

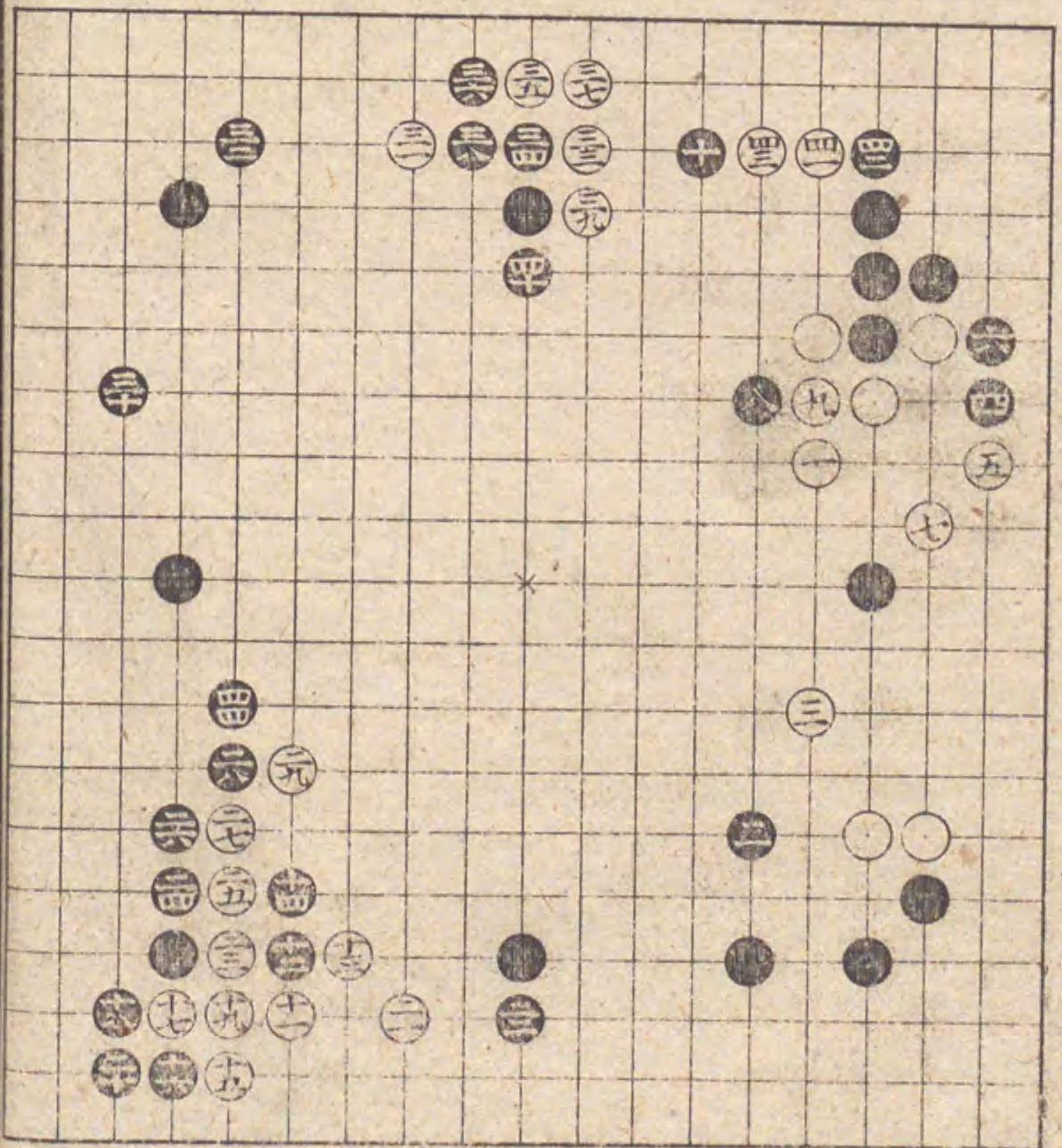


十六と打十七と押せて二四と如此打八黒大小吉三七と打黒三八と二目を捨打心得大小吉必勝の形之替次不記之  
 四十吉  
 四四吉

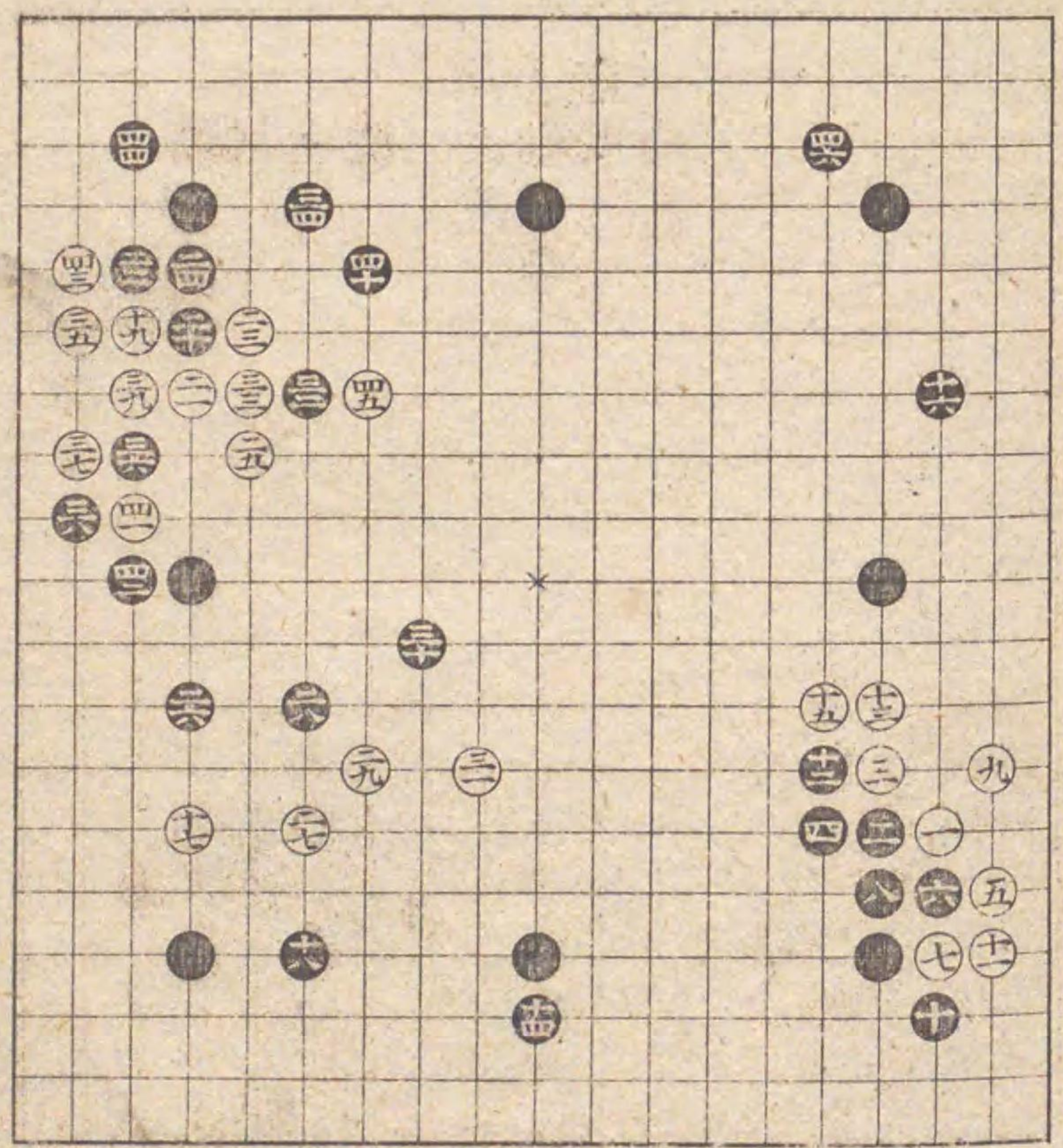




前番白十一の手あり  
替る  
黒二の手三と打せ四  
と如此打吉前後あり  
心得べし二二吉二目  
捨る趣向に必勝の形  
あり  
三十吉  
四四吉

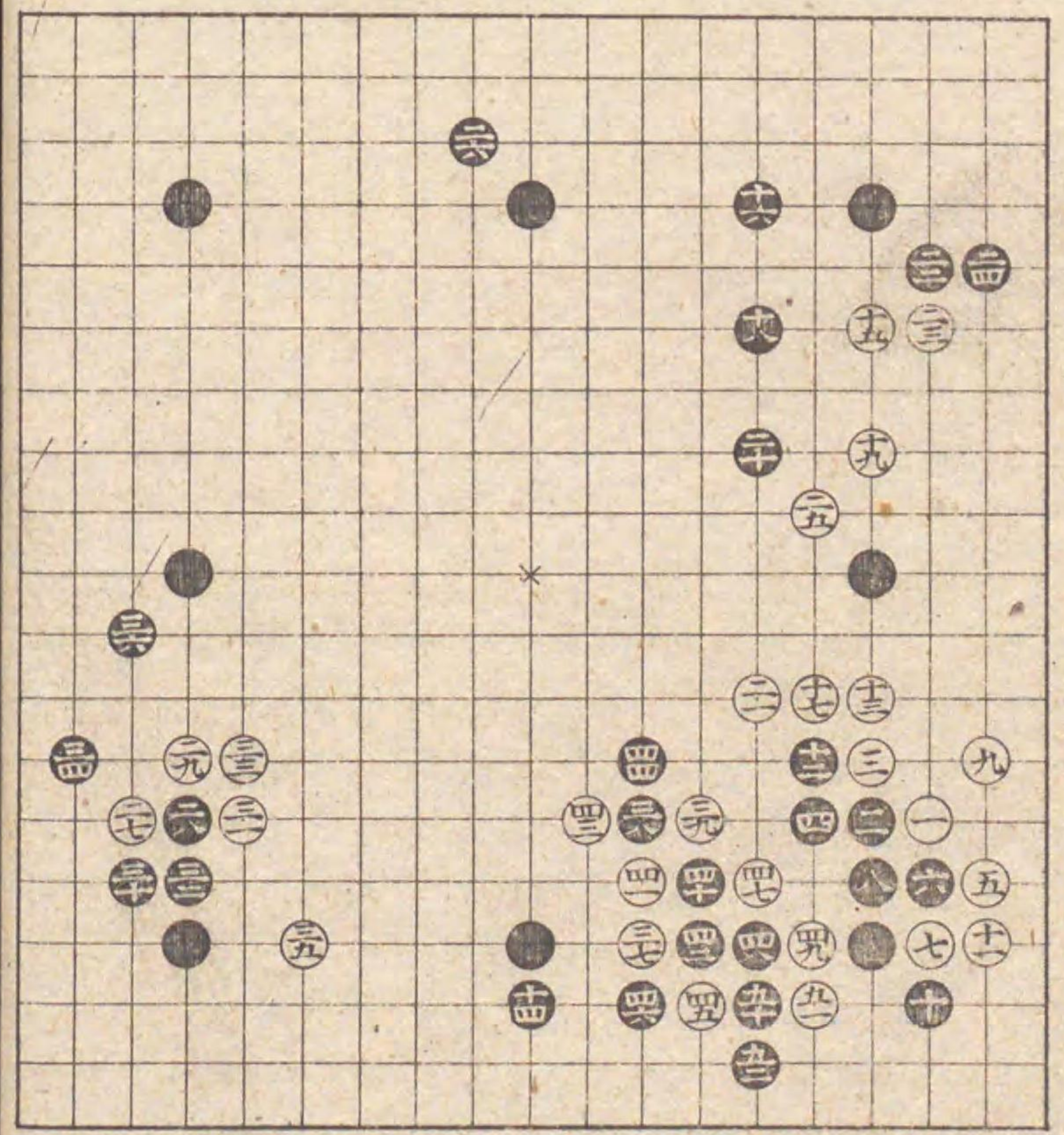


二六と如此打中へ進  
出る心得十四の手有  
故大小吉白三九四一  
へ先へ打方面白に必  
勝の形なり  
十四吉  
十八吉  
四十吉

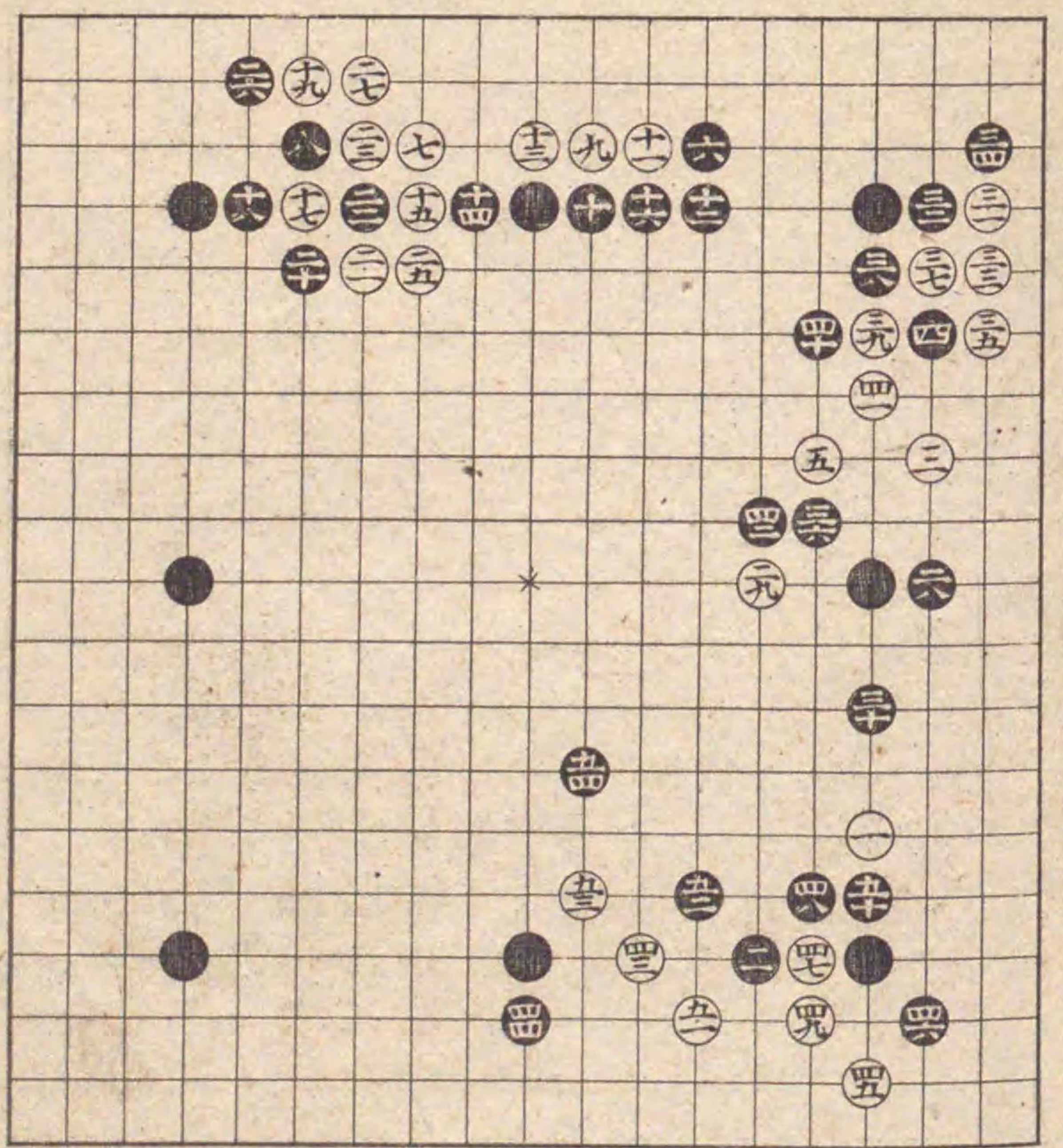




如是大位小堅くちり  
てハ白より趣向ちし  
必勝之  
十四吉  
十八吉  
二四吉  
二六吉  
三六吉  
三八吉



此石立一向紛なし  
十四吉  
二八吉  
四四吉  
五四吉  
五粘



◎置其原自在

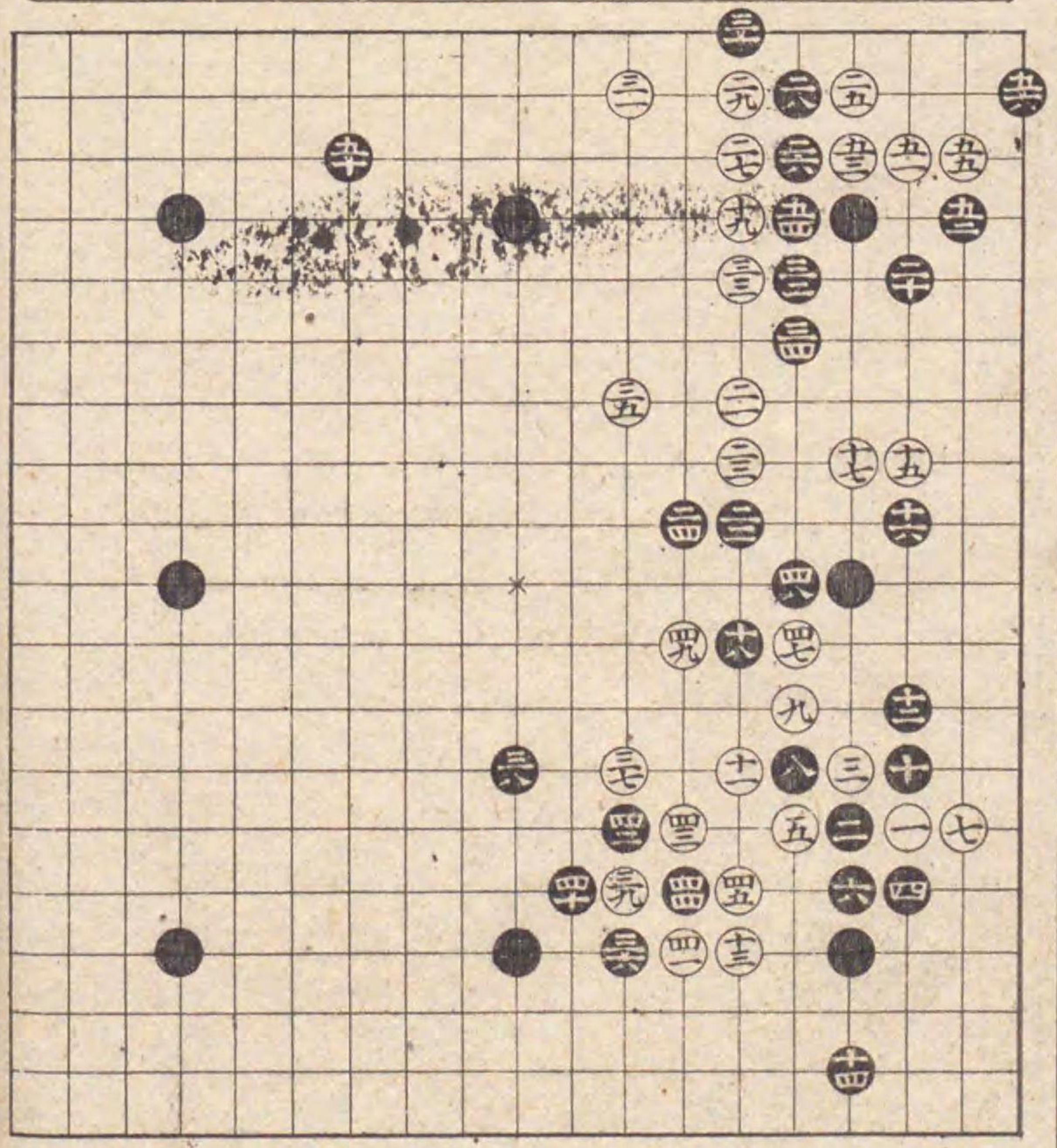
八目置之部

○九

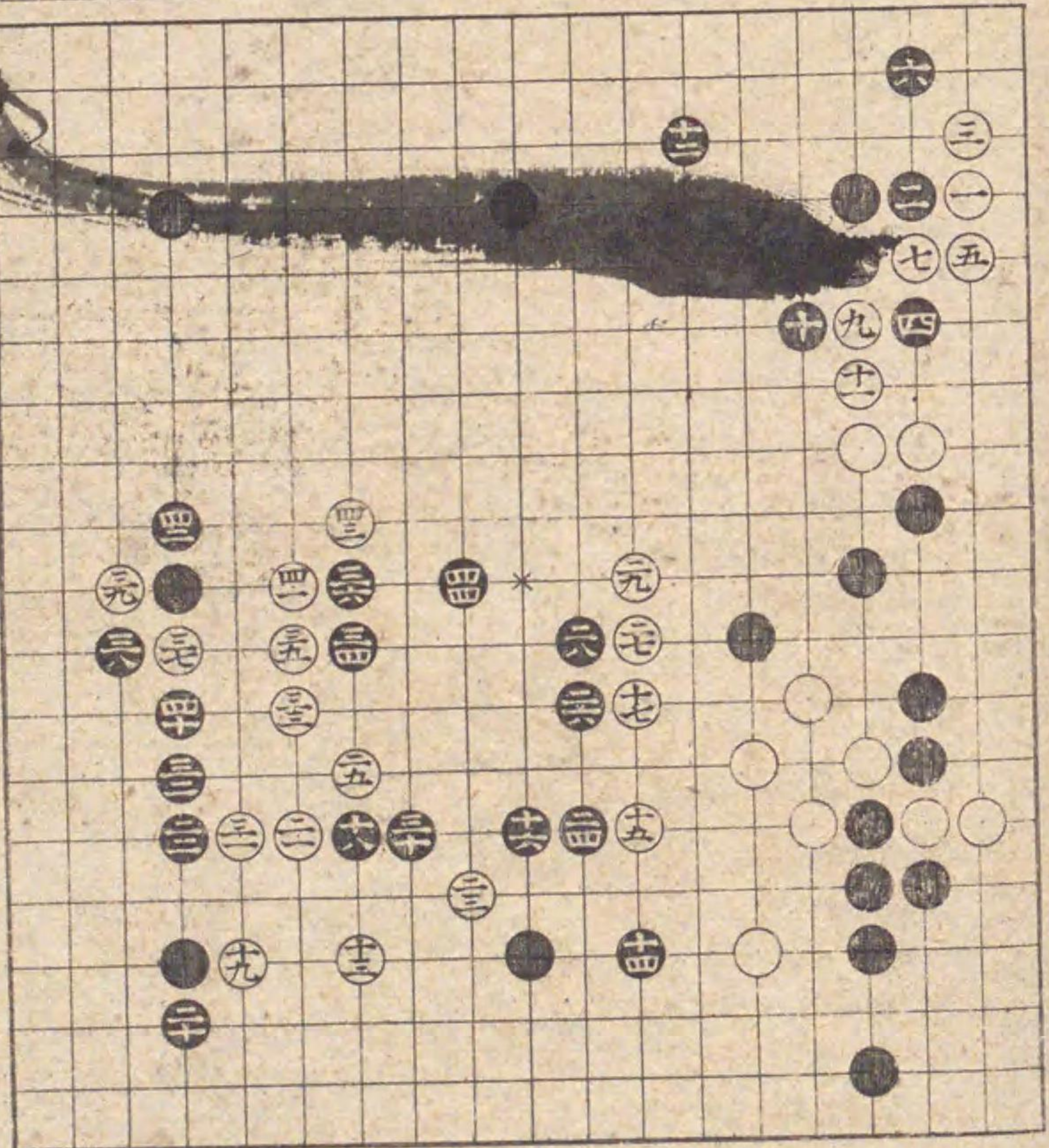
方圓書局



此石立紛れなし  
 十八吉  
 二十吉  
 三十吉  
 粟粘



前番白十九の手あり  
 替る  
 三四の趣向間々有手  
 筋こ心得打べし此石  
 立必勝乃形こ  
 二二吉  
 三四吉  
 四二吉



置其石白在

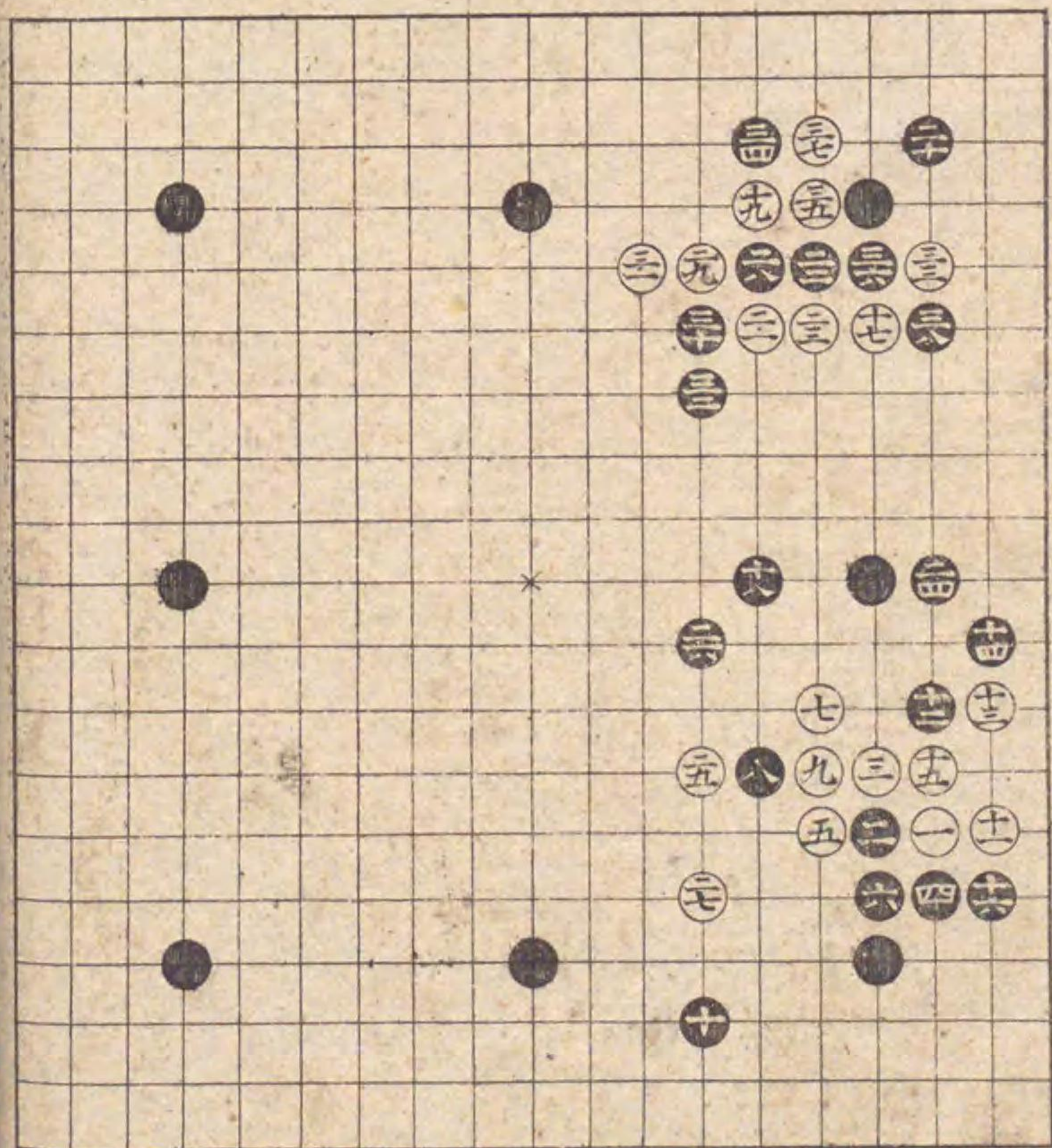
目置之部

十

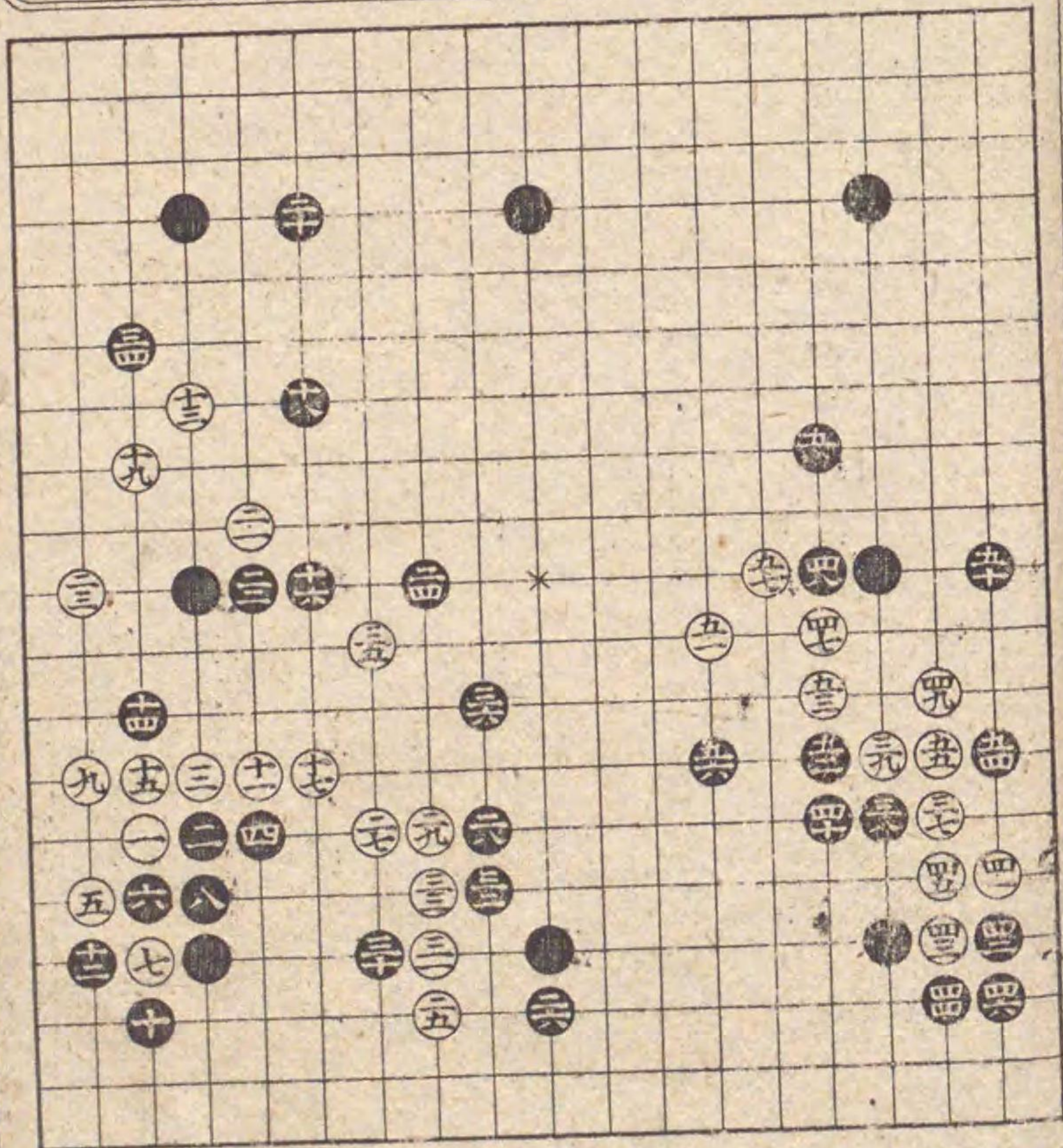
行開書局



二六と打二八と如是  
 切て打ハ黒大不吉必  
 勝りたちこ  
 二十吉



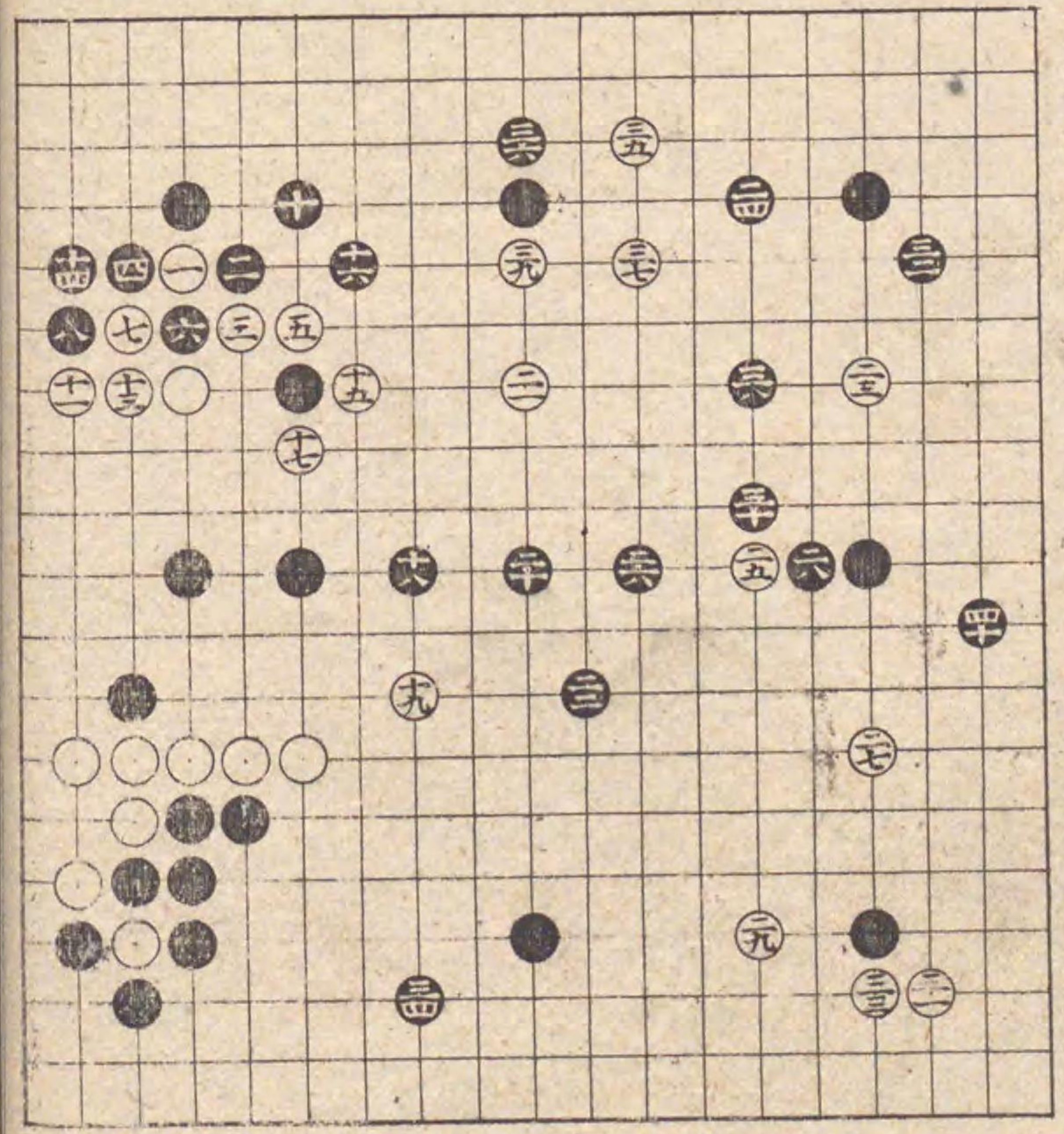
白二九と打時黒直ふ  
 三二乃処へ打ハ白黒  
 の三十乃所へ打ちへ  
 如斯打吉白の四九次  
 何々時ハ四五の所へ  
 出常ハ切手有黒も  
 次打こ此処二六の所  
 黒堅故捨置き五十と  
 強く打こ所不依て心  
 得見べし必勝の形こ  
 替次不記す  
 十八吉  
 二十吉  
 二十四吉



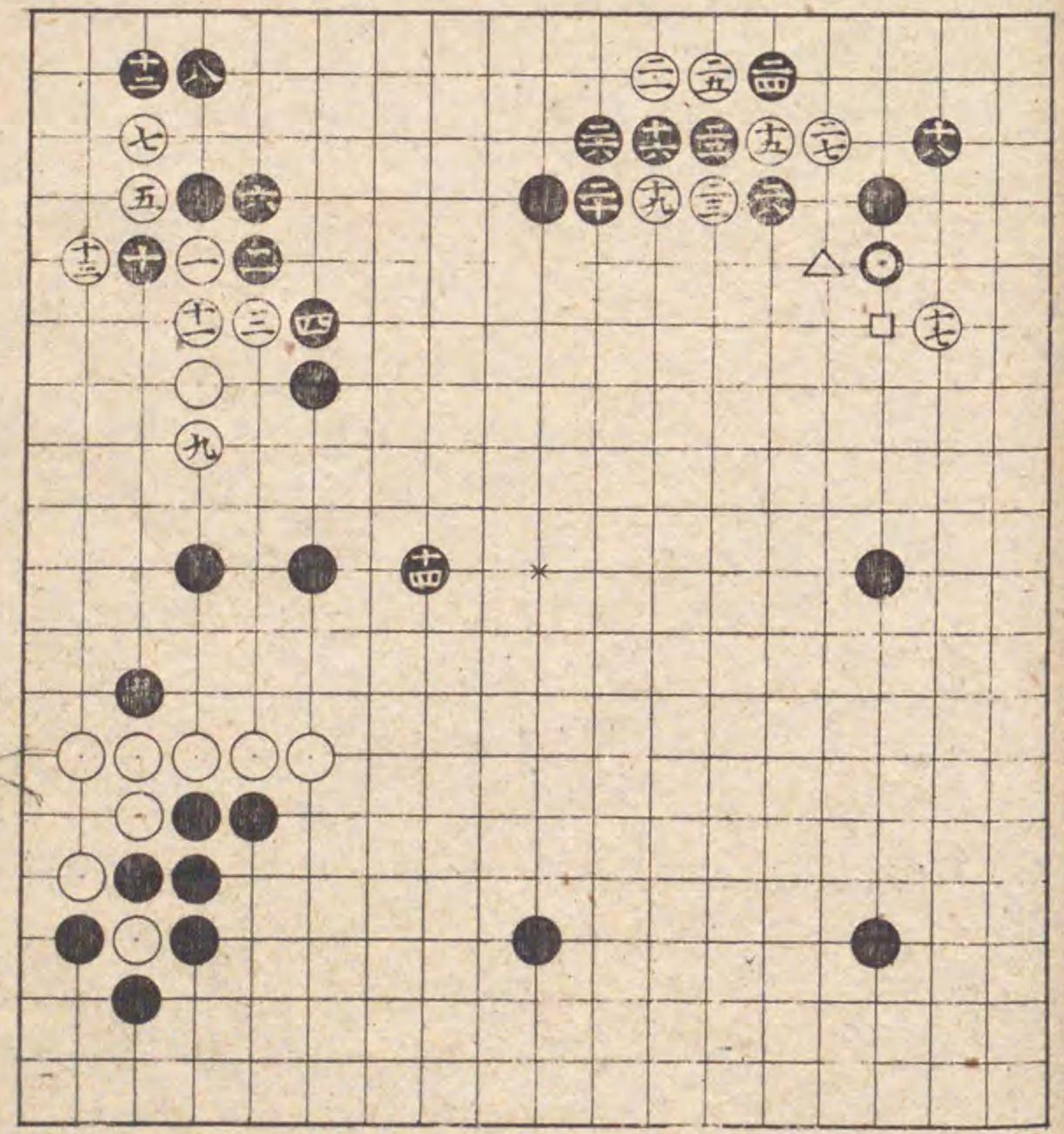
置其感自在  
 八目置之部  
 十一  
 所  
 書  
 勝



前番白十九の手より替る  
 二八乃手前不記す通紛奇き手筋三十乃角を生じ如斯堅く打方吉三六紛な打手也是ハ石立小前々有手なり大位ふなり必勝乃形之  
 九劫とる  
 三同とる  
 十六吉  
 二二吉



前番黒四の手より替る  
 十八の手ふて口印に舟て打もよし乍去此処ふてハ白急ふ△印へ懸て打ば○印に出て切故十九と白打白二一の時二二如此打二四乃手二八の手軽くして強打手こ大小吉心得見べし替古乃為手筋を記すなり心得べし黒大小吉替次小記之



◎置 其 自 在

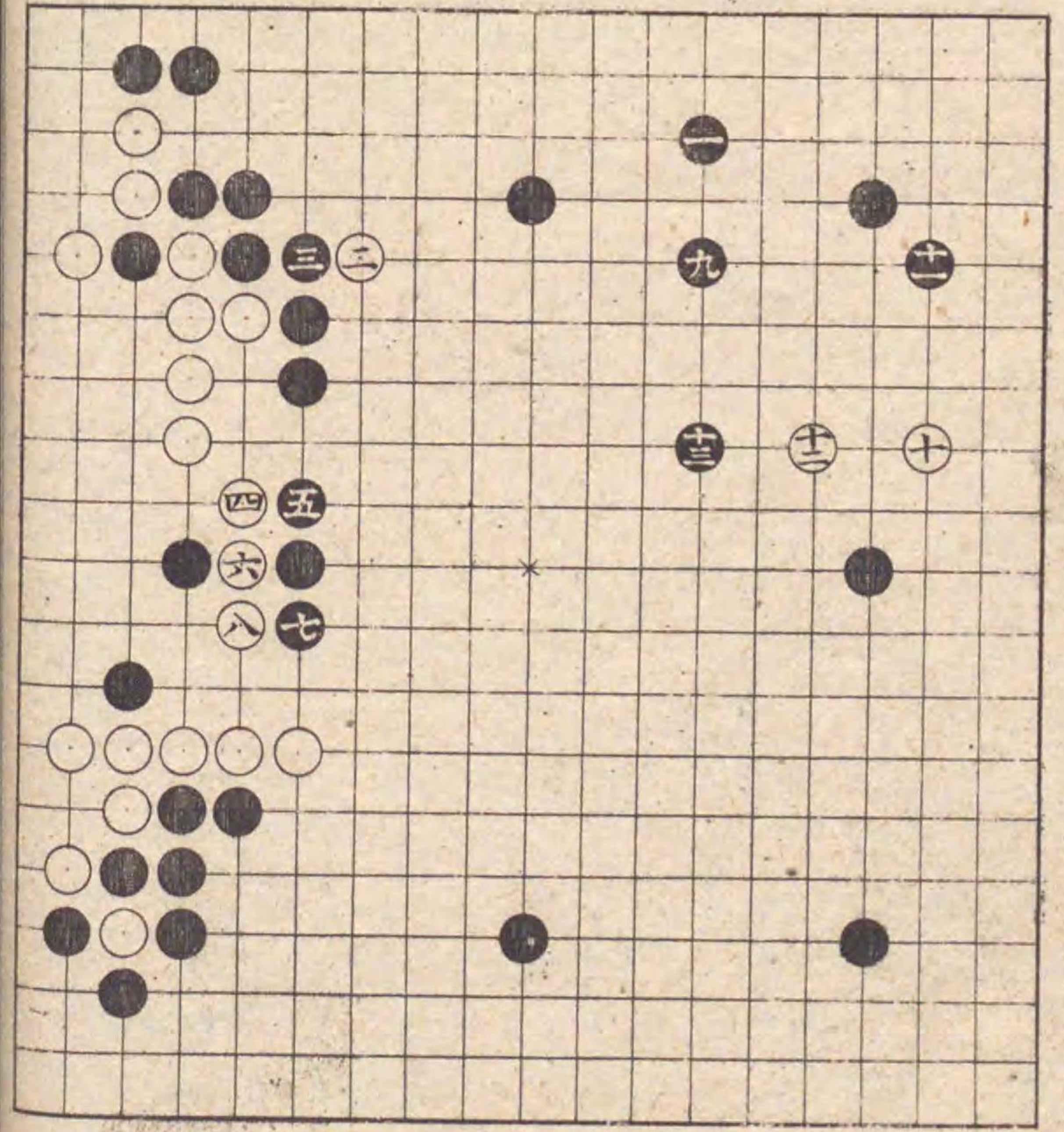
八 目 置 之 部

○ 十 二

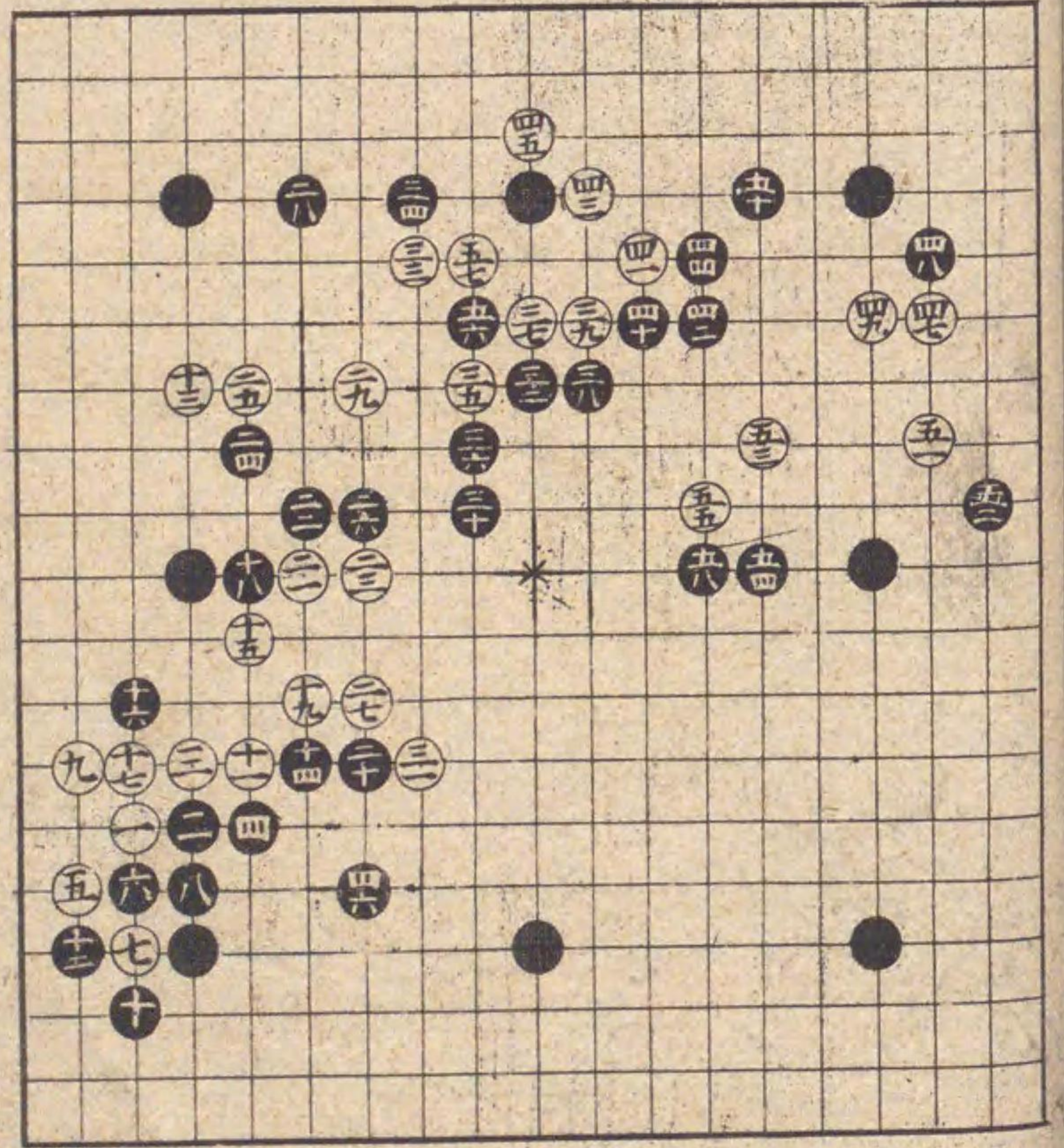
方 圓 書 局



前番黒十四乃手あり  
替る  
一と如此替て打ても  
吉九の手吉大場こ十  
一と打十三と打心持  
毎度有手筋こ心得  
し大位不て紛なき石  
立也



黒二二とをねの時白  
切ハ二四の手へ打捨  
る白より切手筋とし  
二とかけ次黒よし三  
二吉前二記手筋な  
り三七の時急二五六  
へ切てハ の手筋な  
り悪し三八如是打見  
合切て打ハ黒堅くし  
て大よ吉必勝の形  
替次は記之  
四六吉  
五二吉



置其處自在

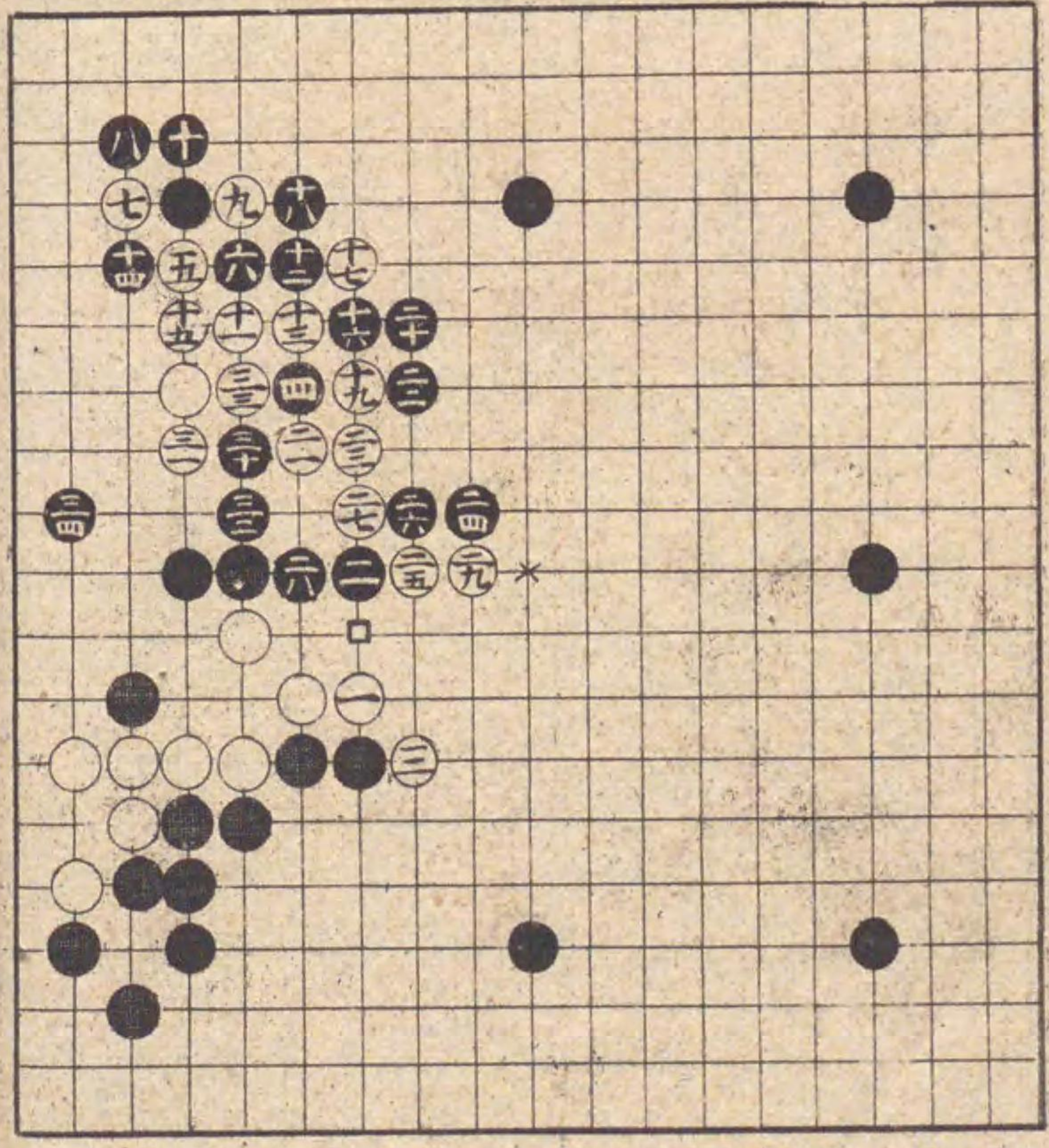
八目置之部

十三

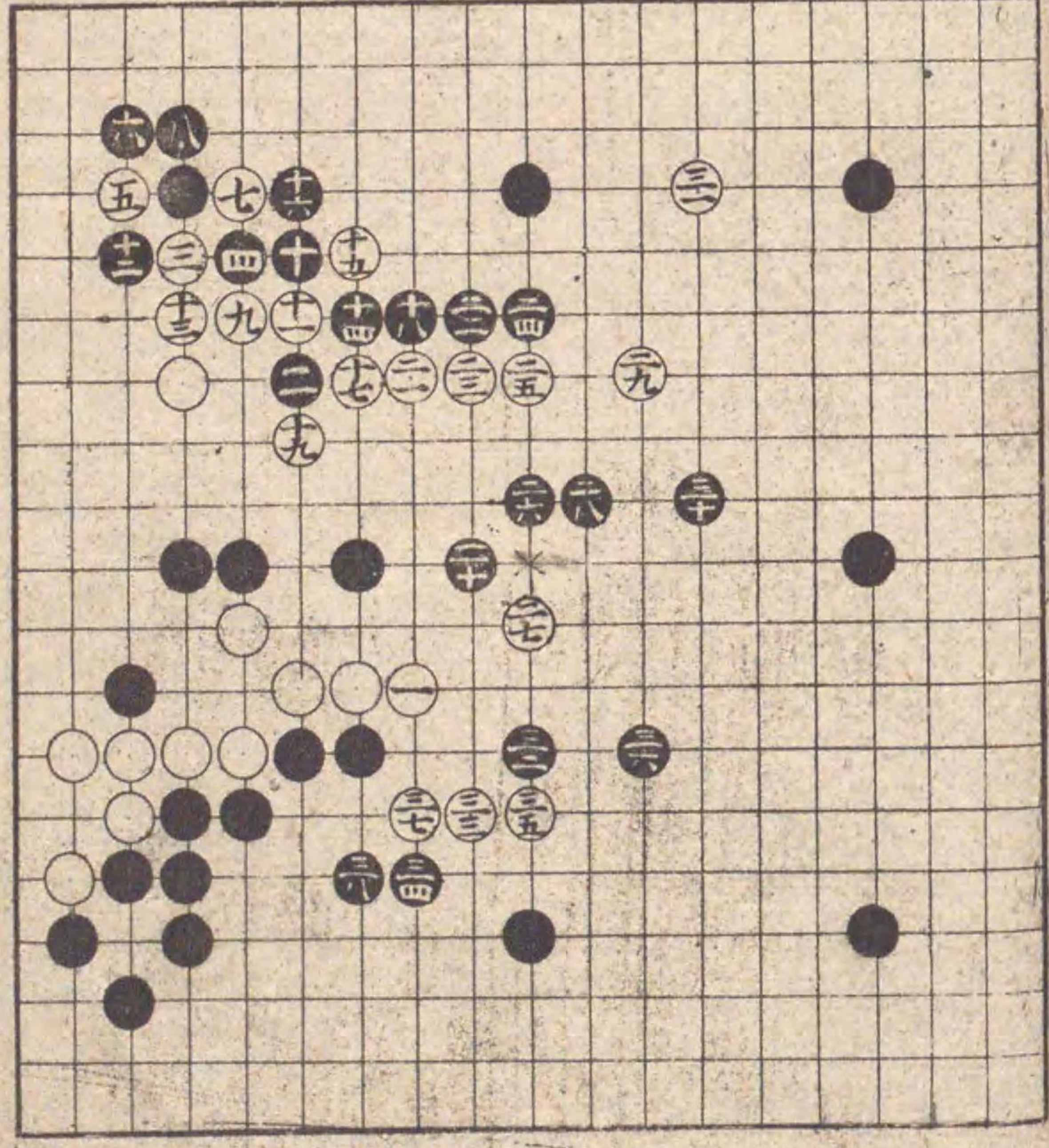
方圓書房



前図白二一の手より替る  
 白二九の手より工口印へつめても黒責合よし如是なりても白死中押の形なり替次一記之  
 四吉  
 八吉



前図白三の手より替る  
 一とをねぎして白打時ハ二十と飛打ん如斯なりても少しも紛なき石立へ白五の時前の通り六の手筋吉心得見べし切て八面白から必勝の形なり



○置 廿 廿 廿 在

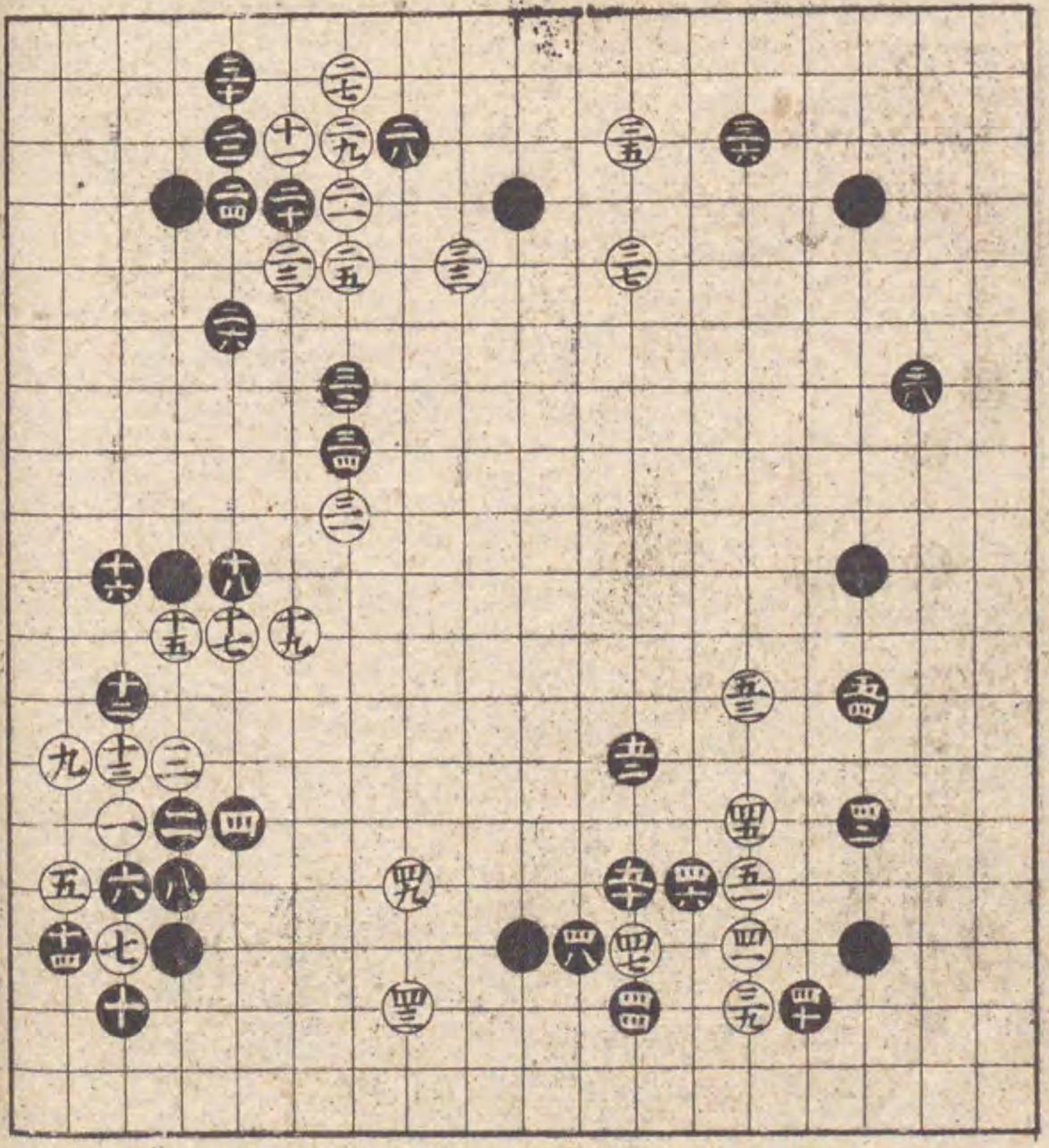
八目置之部

○十四

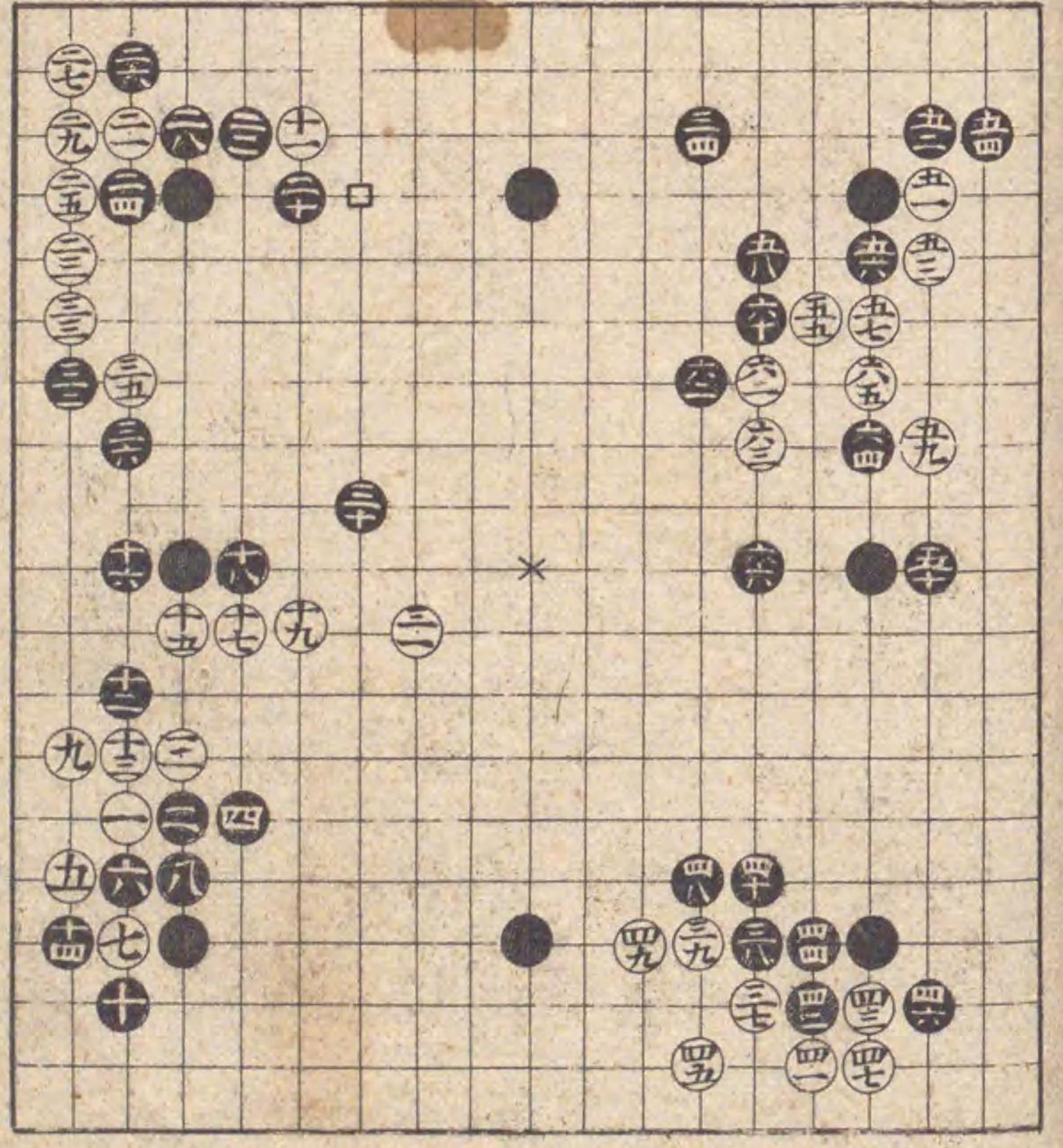
方 圓 書 房



二八と打三十と下ろ  
 手筋毎度有事之心得  
 べし二六と打二九の  
 所を切らば二七の所へ  
 打たず如斯打時ハ此  
 形ハ打廿九吉必勝の  
 形人  
 十六吉  
 五十四吉



黒の二十の時白口印  
 へちねて打八前の通  
 り二二の所へ押し吉  
 角の形打みくき故如  
 此白打ハ二二と打角  
 を打せて打也如是な  
 りて見少し紛れなき  
 石立也心得見べし五  
 六立八此石立ハてハ  
 吉必勝の形也替次  
 記之  
 三十吉  
 五十吉  
 六六吉

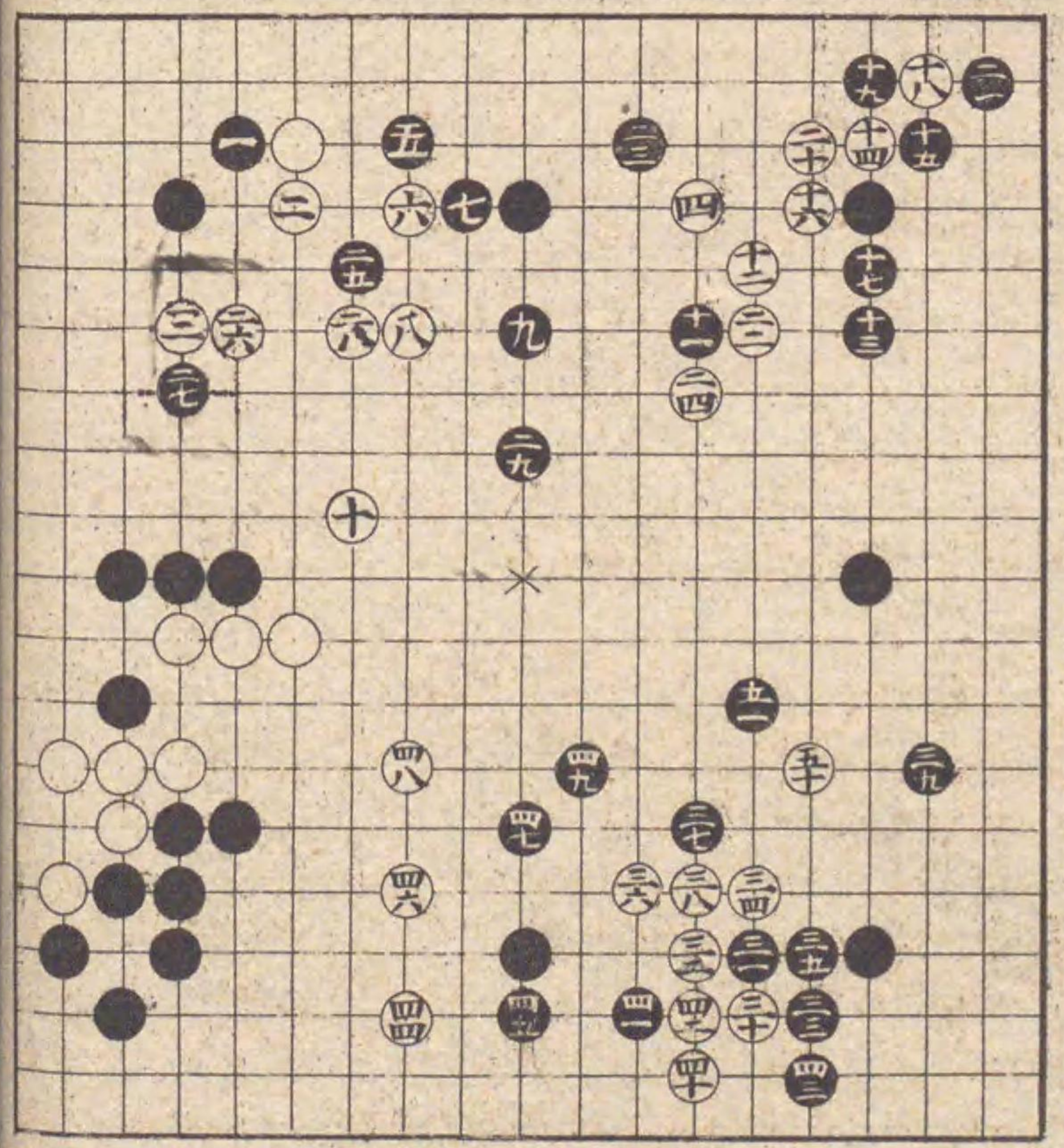




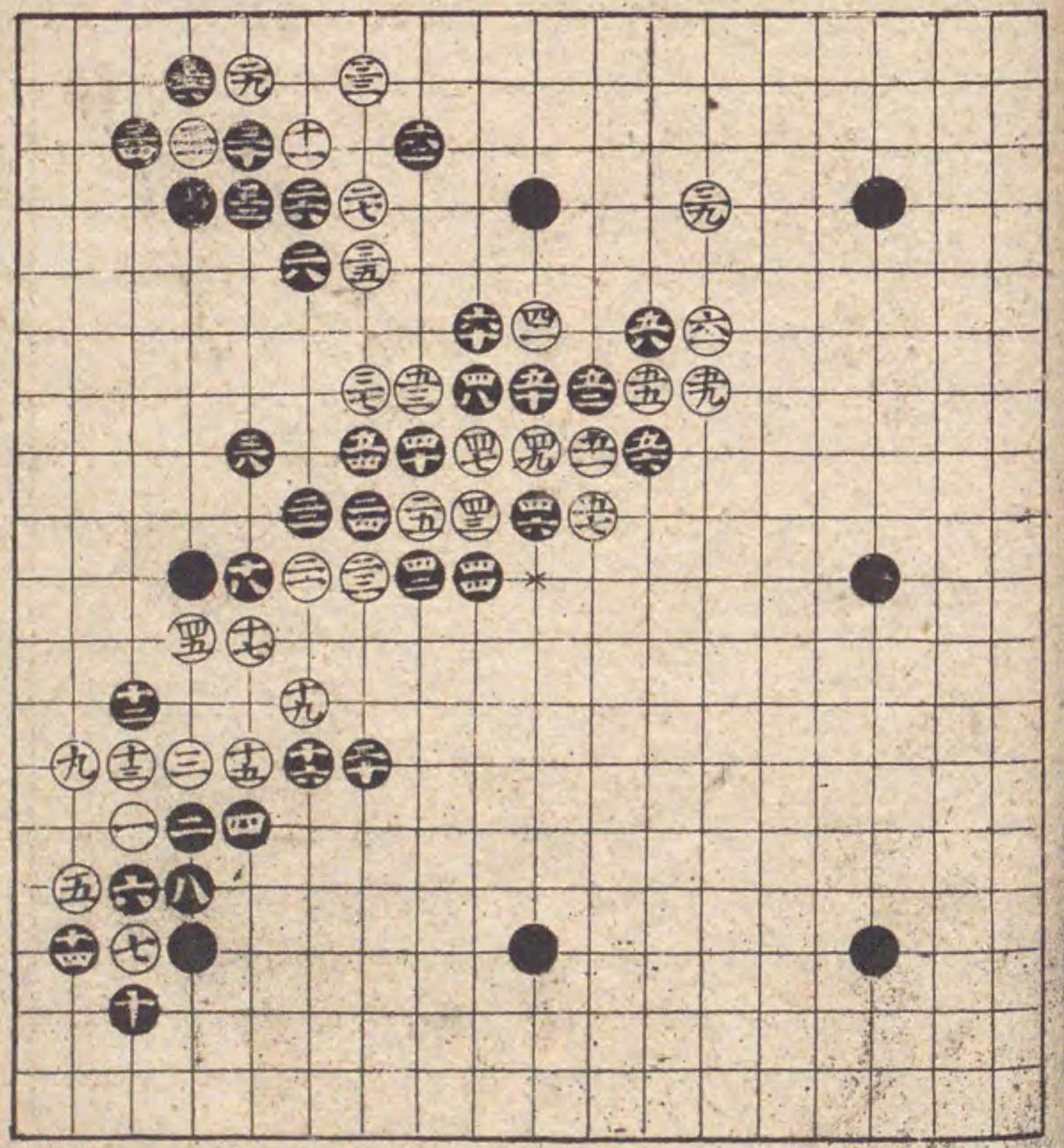




本図黒二十の手より替り  
 白二二の時怪く二三  
 と如斯打吉二九も紛  
 なき手筋也心得見べ  
 し白四十かけ次み打  
 時前記の通り如是打  
 吉必勝の形なり  
 十三吉

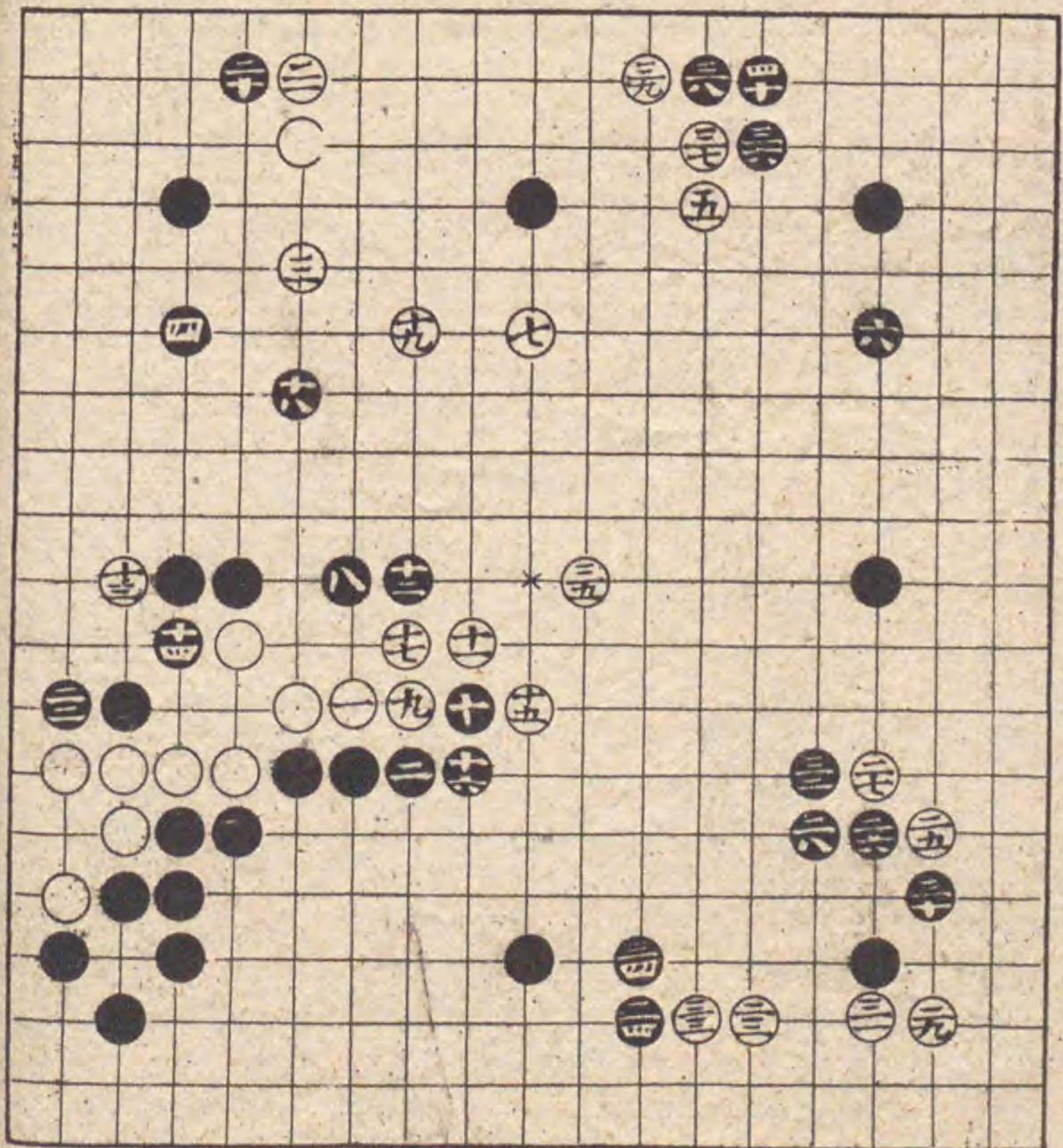


白四一無理なり如是  
 成てハ中押の形なり  
 替り次よしるす  
 二六吉  
 三八吉

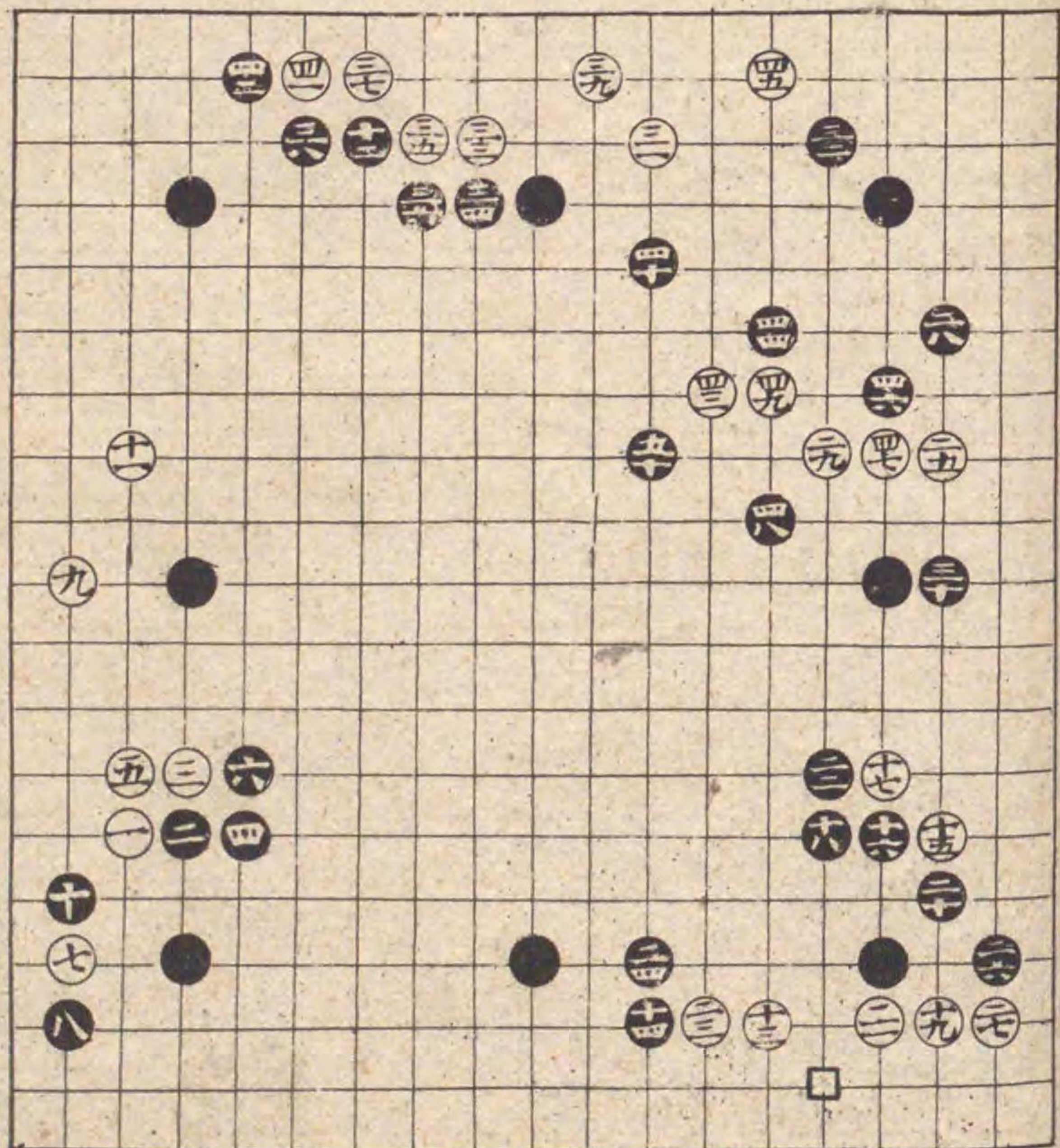




前番白二一の手より  
 替る  
 黒十と打白十一と  
 打せ十二と打手筋大  
 小吉間々有事也心得  
 へし外位能ゆへ三六  
 と打木目の石を捨て  
 打よし紛なき趣向也  
 必勝のあさちなり  
 二四吉  
 三二吉

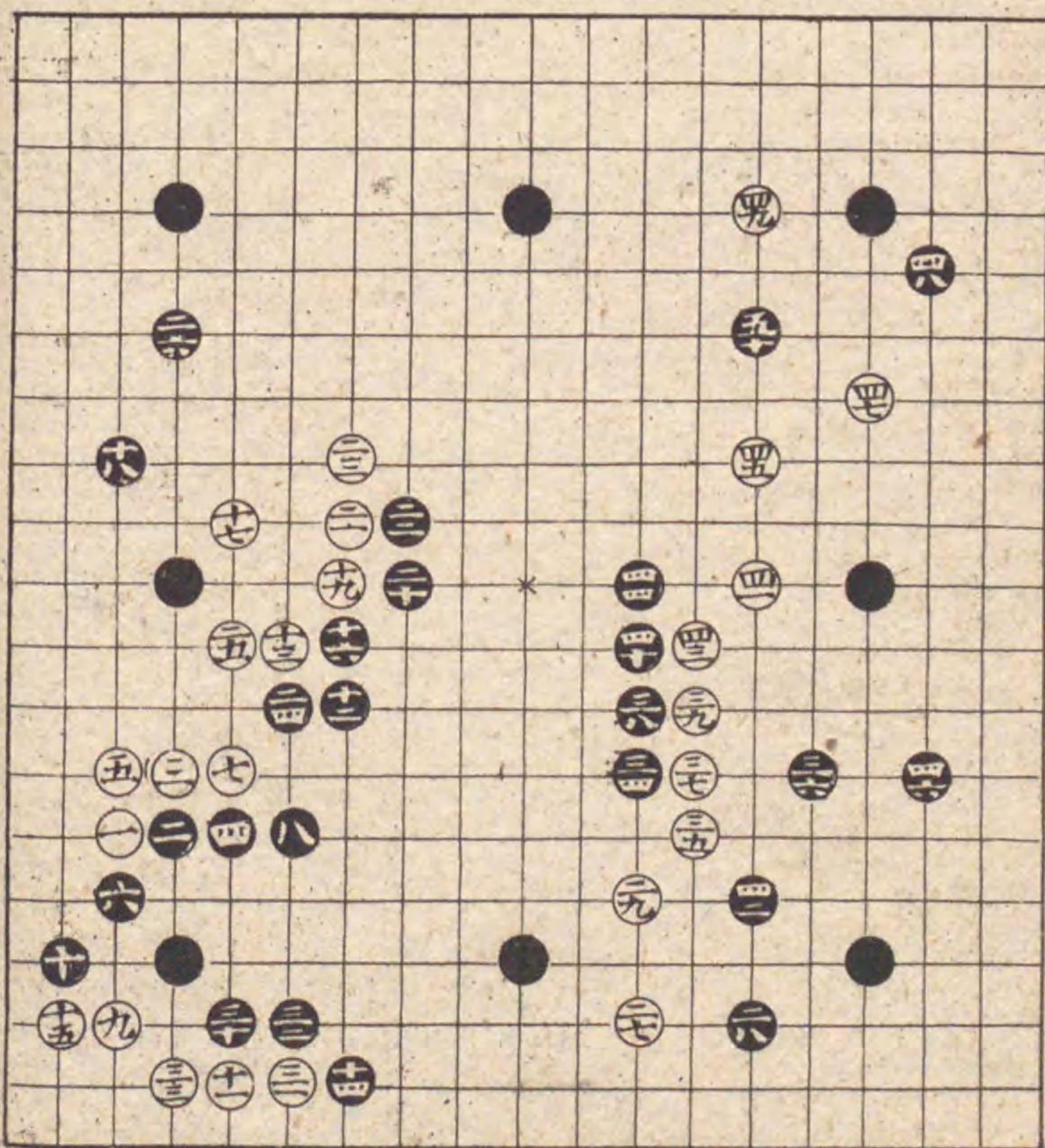


白二三と打さる時ハ  
 口印へのぞき打へし  
 故不如斯打なり四六  
 豆うさざり手筋なれ  
 ども三十と堅く有故  
 四六面白し四八吉五  
 十とかけてハ必勝の  
 形なり  
 十吉  
 二二吉  
 三十吉

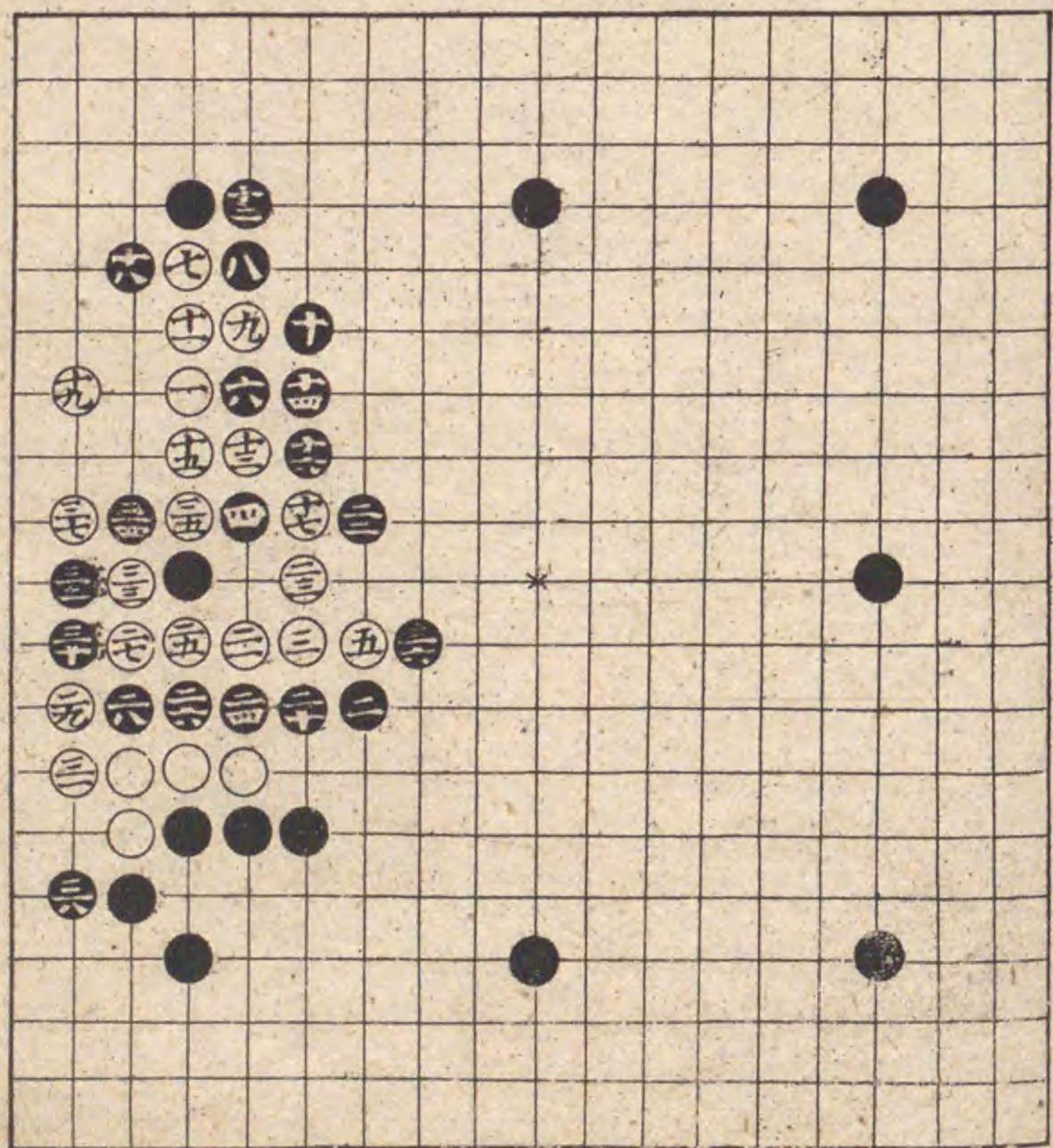




四八と堅打五十と如是  
 打時ハ一向紛なき手  
 筋也心得見べし必勝  
 の形也替り次不記也  
 十四吉  
 二六吉  
 三六吉  
 四六吉

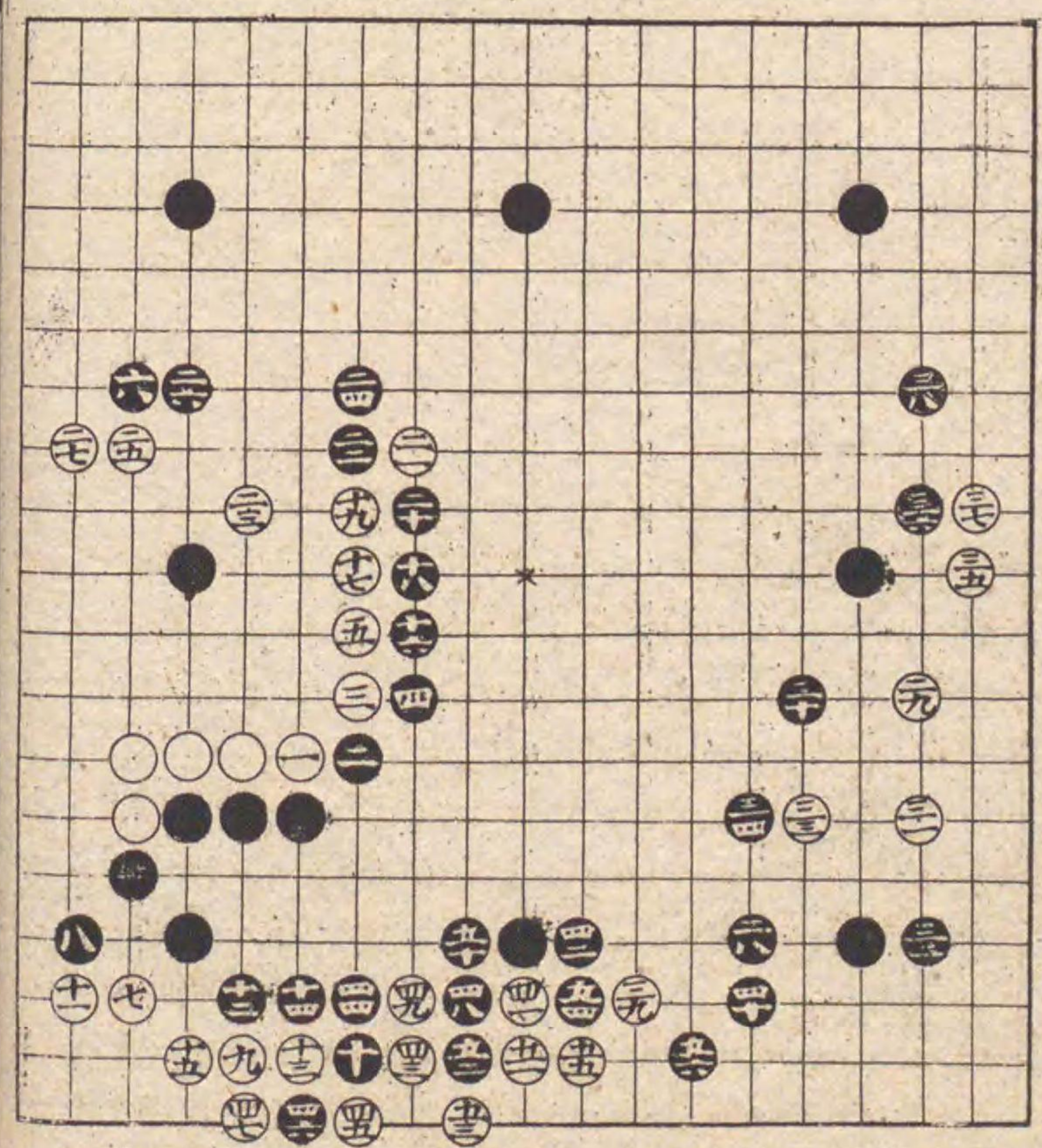


前番白九の手より替  
 る如是かりてハ白趣  
 向をし必勝也替り次不  
 記之  
 十八吉

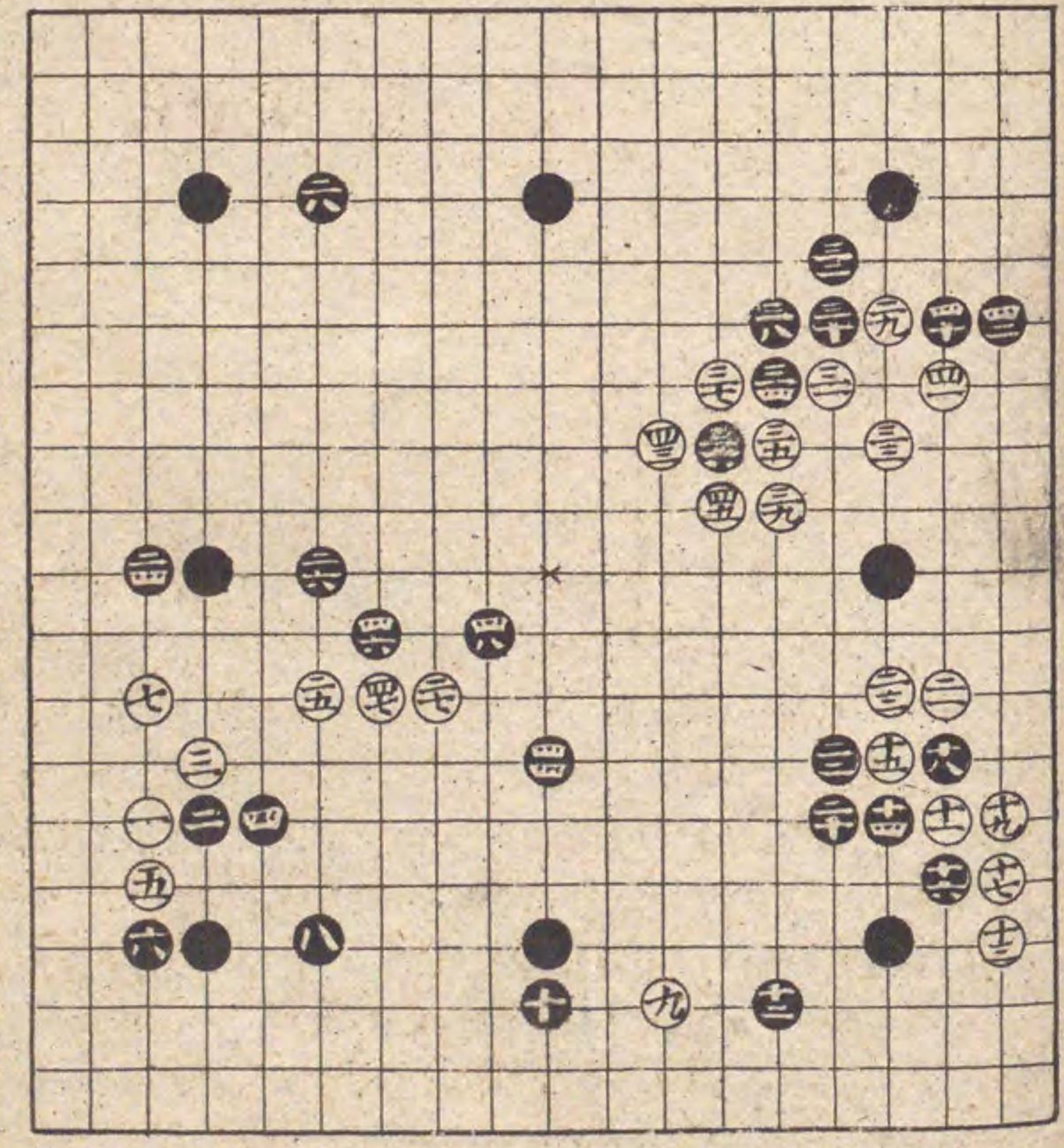




前番白一の手より替  
 る此所十六より千邊  
 押て打吉如斯白下を  
 打やう不成てハ趣向  
 なし必勝の形也



十八と切二十と打事  
 常小有手筋也をねて  
 打たらば石重き故  
 三十と打々様不堅く  
 打も吉必勝の形也替  
 り次不記之  
 八吉  
 十吉  
 十四吉  
 二八吉



○置替自在

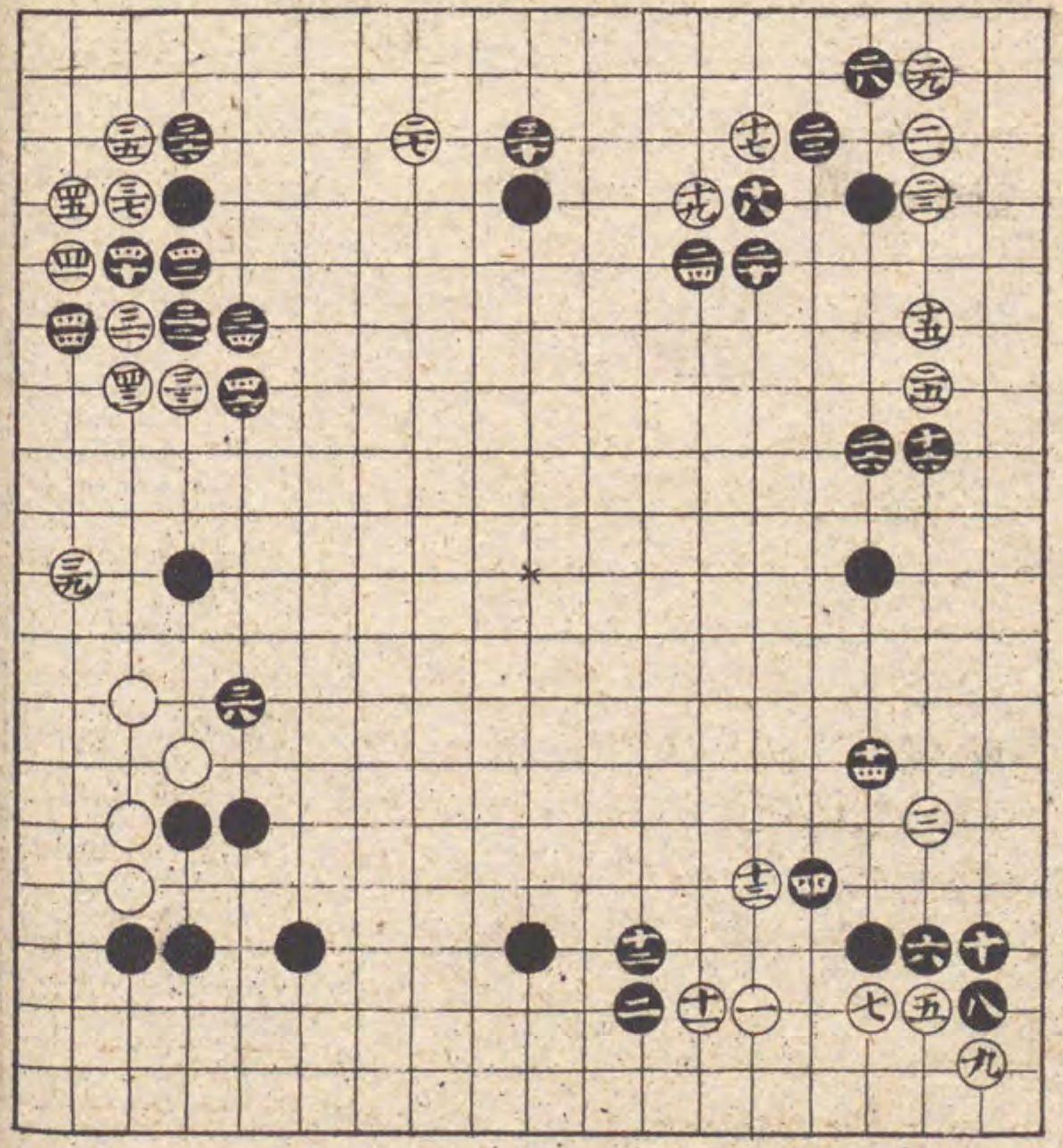
八目置之部

○二十

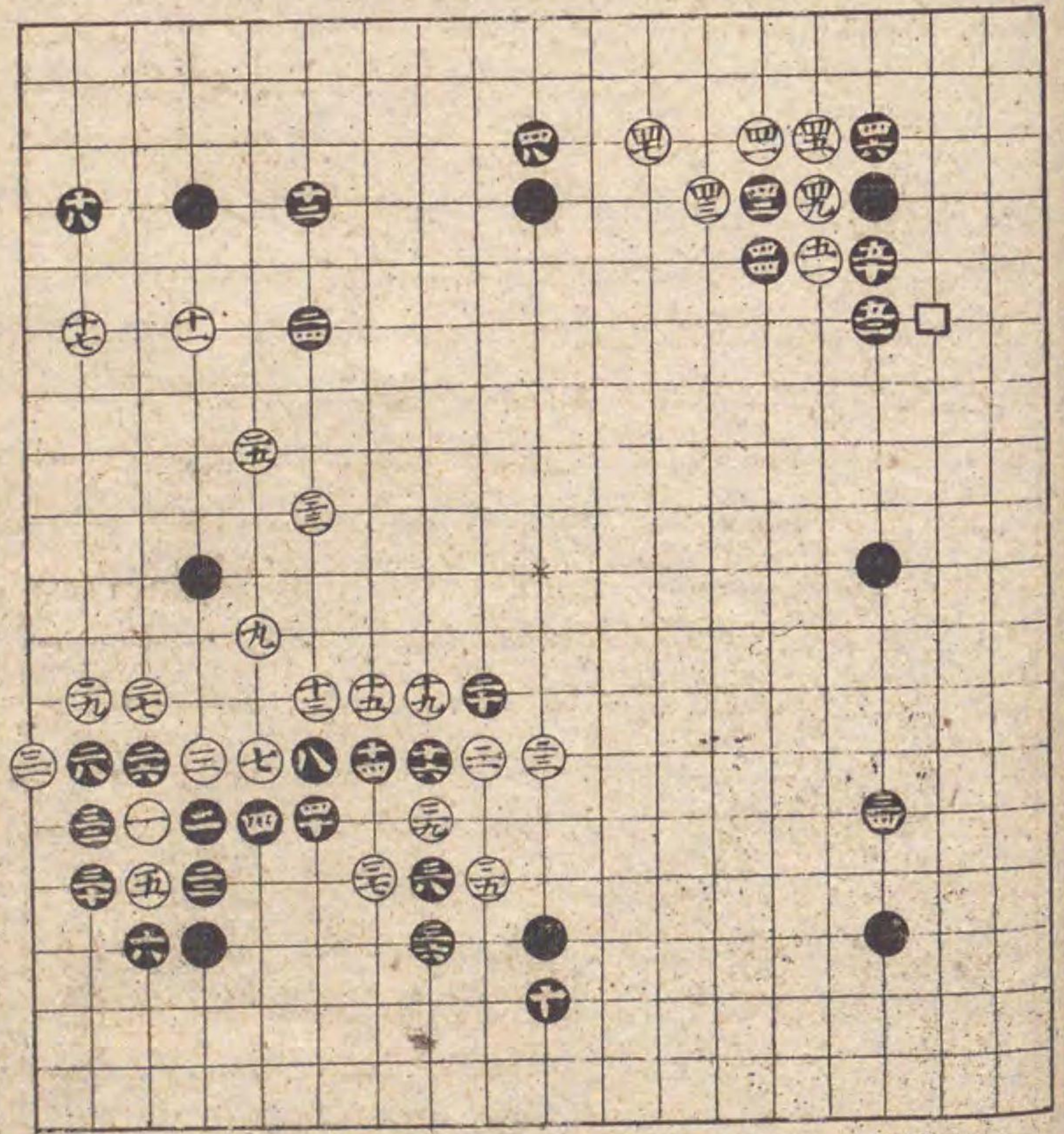
方圓書房



前番白九の手より替  
 る四の手筋如何なれ  
 ども八をもねて打  
 石を取て打ハ堅くして  
 吉石重故種々手筋を  
 記す形を考へ見へし  
 二四三十如前打也紛  
 なし必勝の形也  
 十九吉

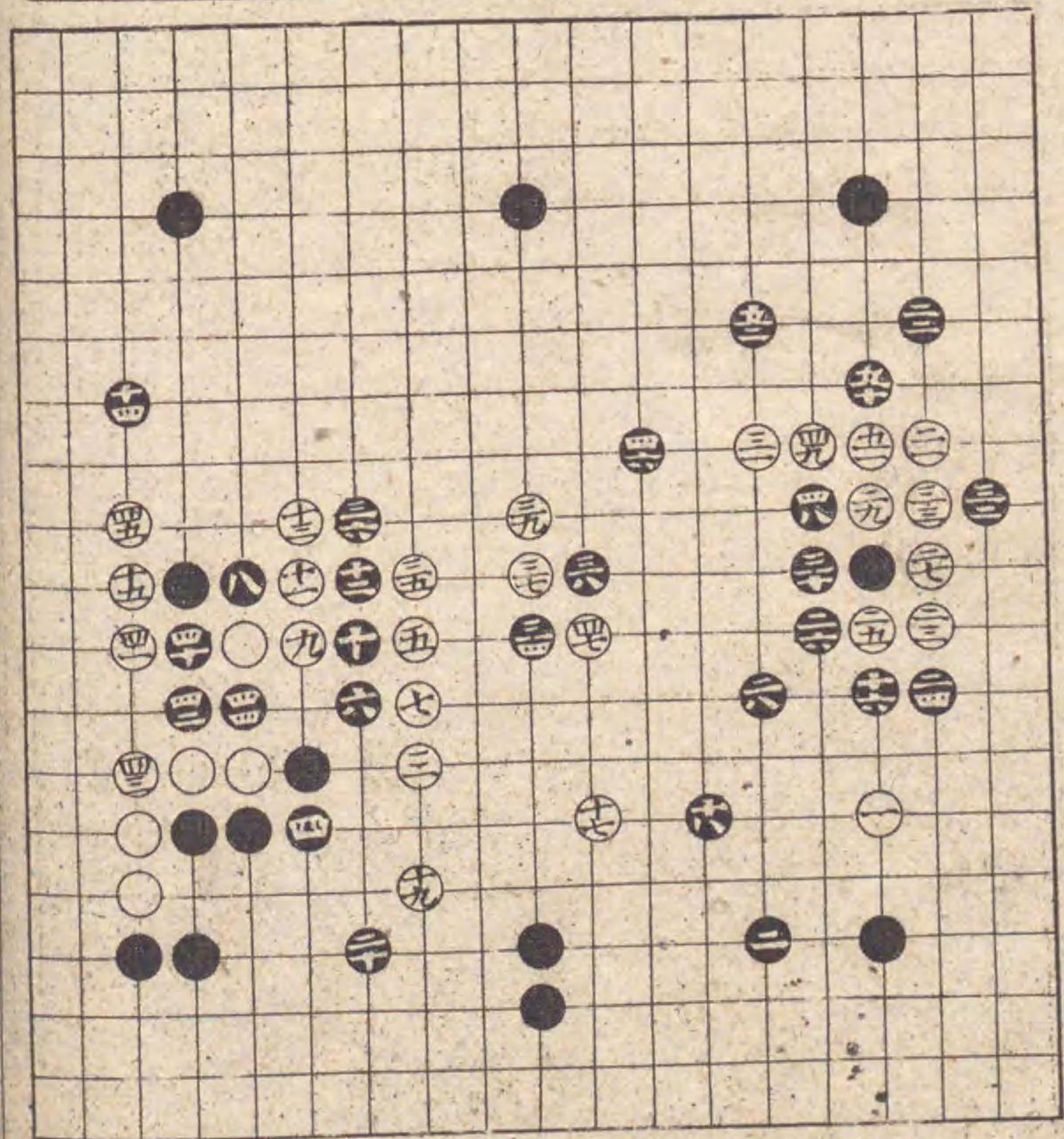


二一の切の時二二吉  
 二五と打せ二六切て  
 取よし心得見へし白  
 四七の手おて先へ四  
 九も出て次も黒口印  
 江小桂馬不打也四八  
 と打此取面白し考へ  
 見へし必勝の形也替  
 次は志る以  
 十吉  
 三四吉

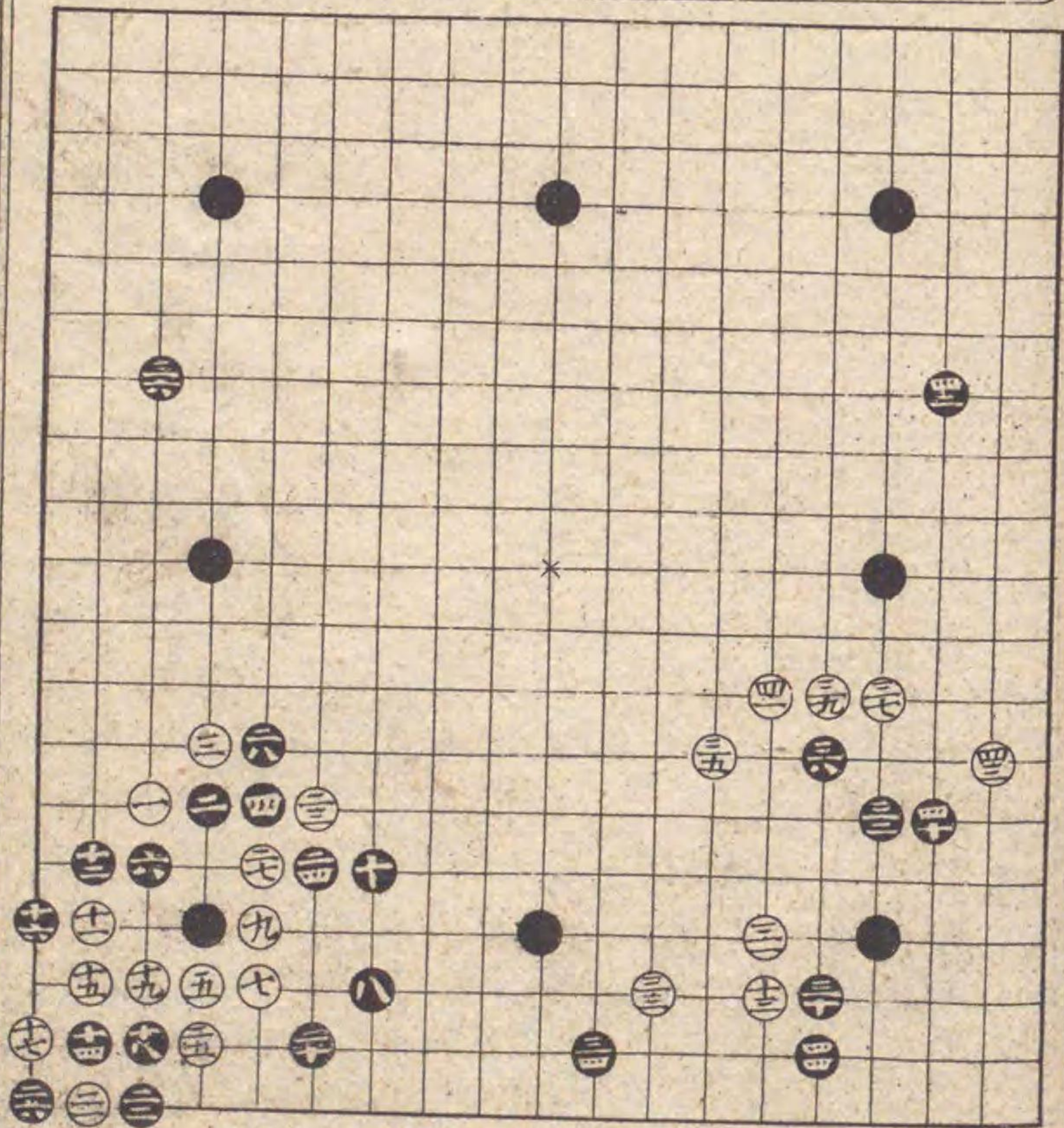




前番白十一の手まり  
替る六と打八と如此打手  
筋間々有事也且趣向  
也三四と打三六と打  
手筋よし心得見へし  
四六と打切せ捨置て  
如此打趣向吉考見へ  
し必勝の形也  
十六吉  
十八吉

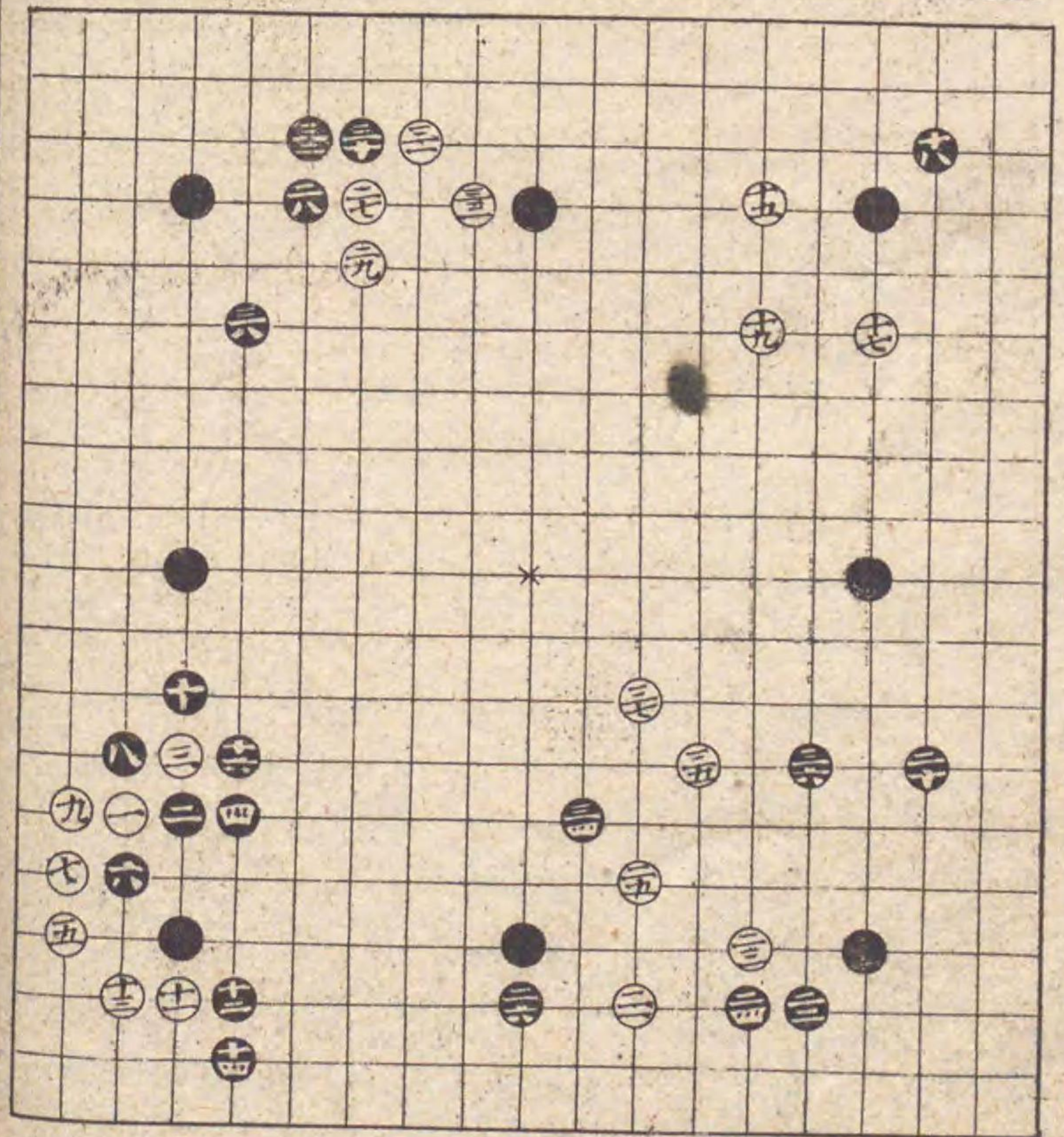


二八の手次で打も吉  
石重故跡の趣向誓吉  
の為如是記也心得見  
へし三八手筋不且趣  
向なれとも四十と打  
四二と先を取打ゆへ  
面白し考へ見へし必  
勝の形也  
八吉  
十吉  
三二吉  
三四吉  
四十吉  
劫とる

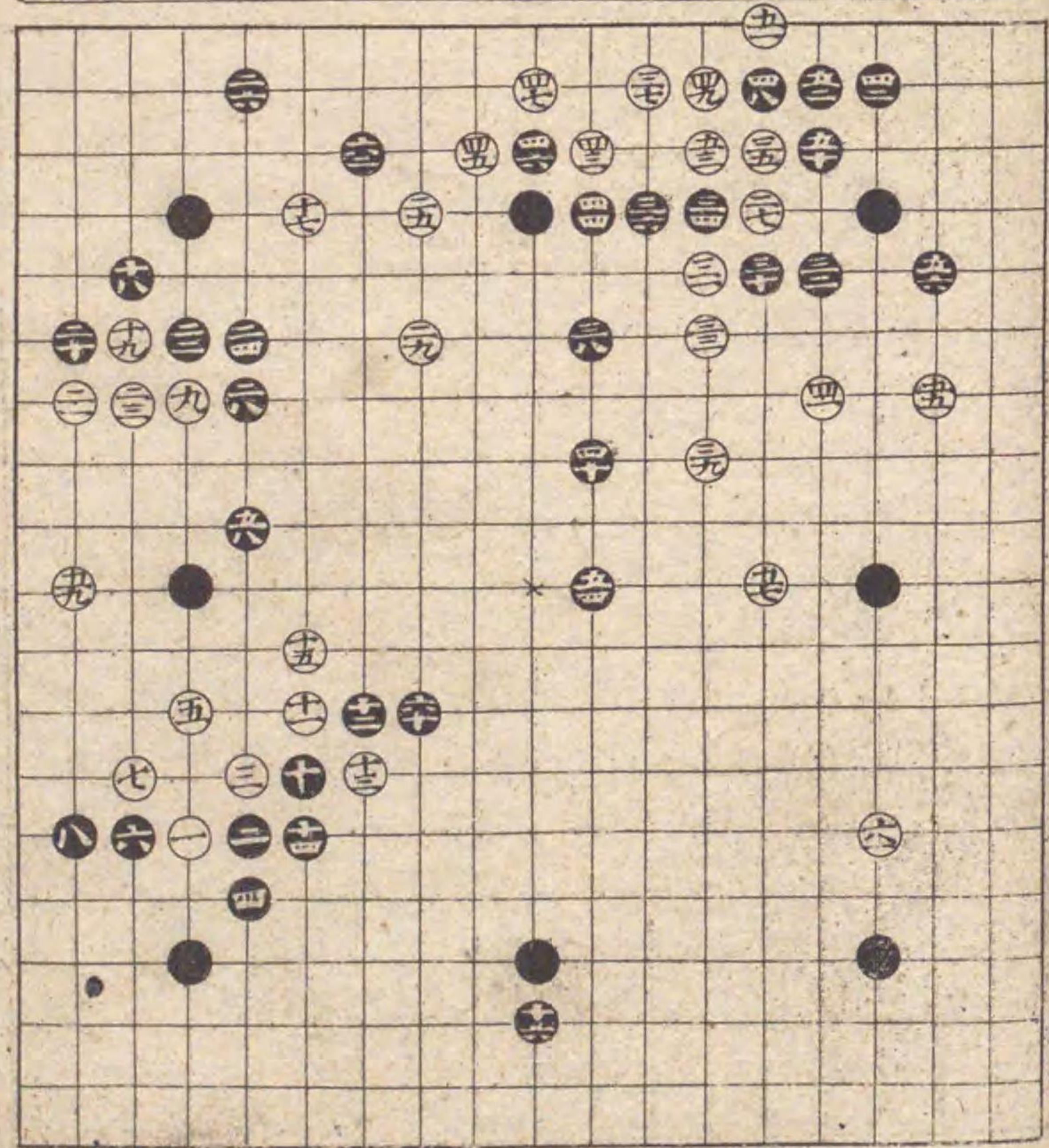




白五と如斯打ハ悪き  
 手なれども黒の打や  
 うまふしむるごめ記  
 之二九の手三二江を  
 ねて白打ハ常のよく  
 上へ出て打也此石立  
 黒大ニ吉必勝の形か  
 り  
 十八吉  
 三五吉



如前石重き故ニと打  
 如是なりても黒堅く  
 ちて吉白十九の時二  
 十ともね悪き手おれ  
 ども此所不てハ紛お  
 くして吉三三の手不  
 て白三六へ打ハ六の  
 手の通り打あり何れ  
 不てもよし必勝の形  
 也替次不記之  
 十六吉  
 二六吉  
 三六吉  
 四二吉  
 六二吉



○置 高 自 在

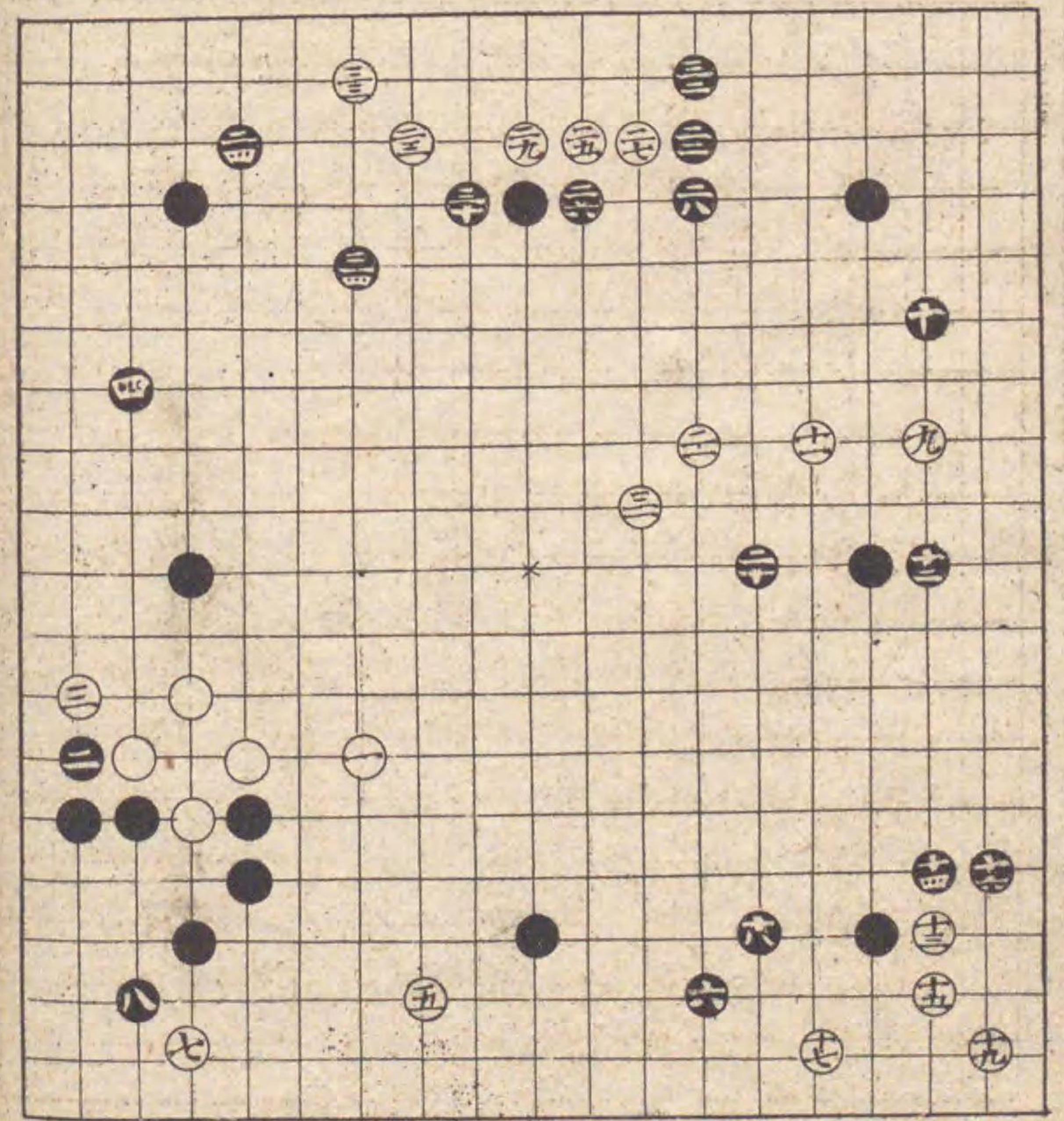
八目置之部

○廿三

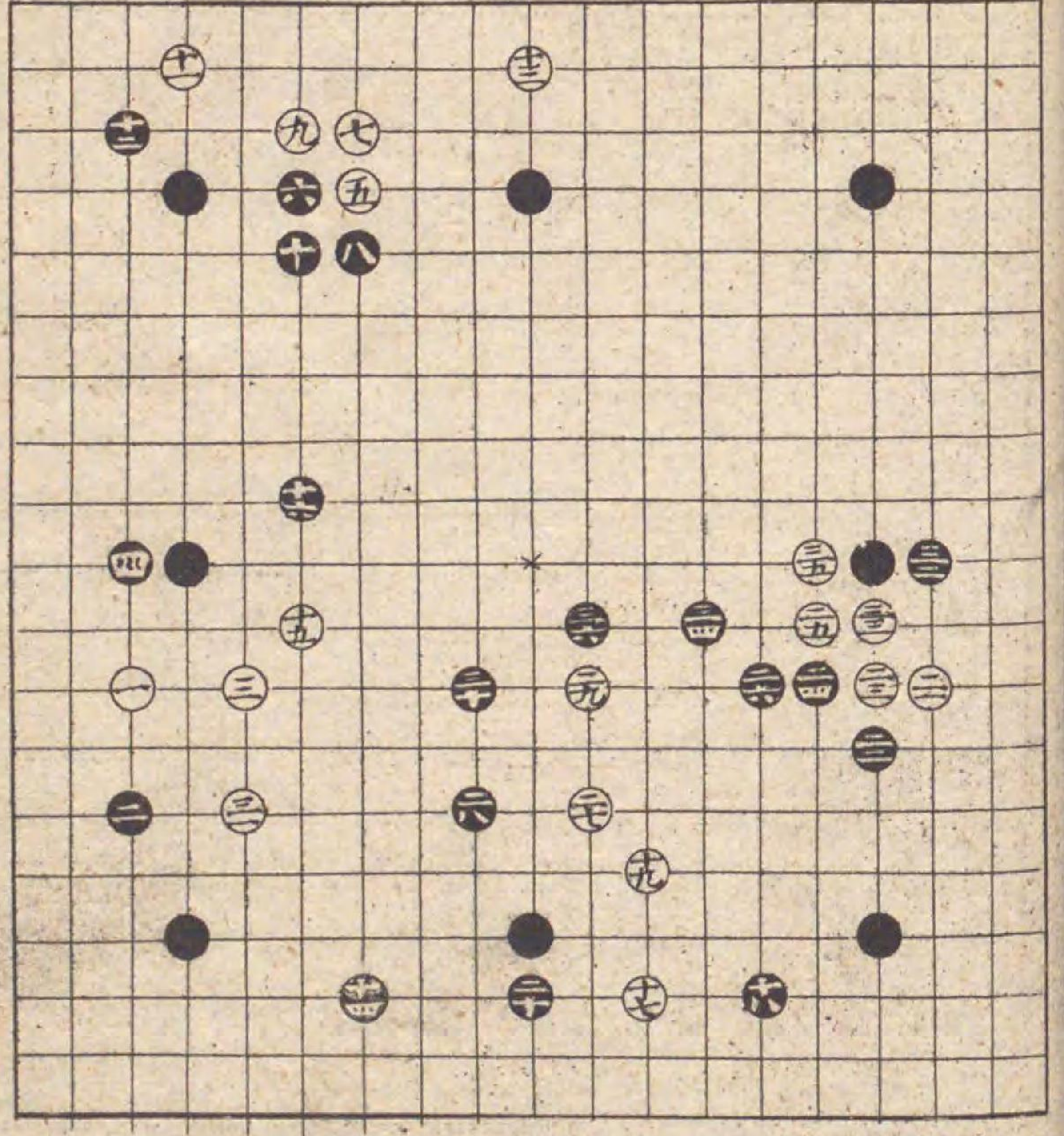
方 圓 書 高 房



前番白九の手より替  
る如斯替ても黒大善  
必勝の形也  
十四吉  
十六吉  
二十吉  
三十吉  
三二吉

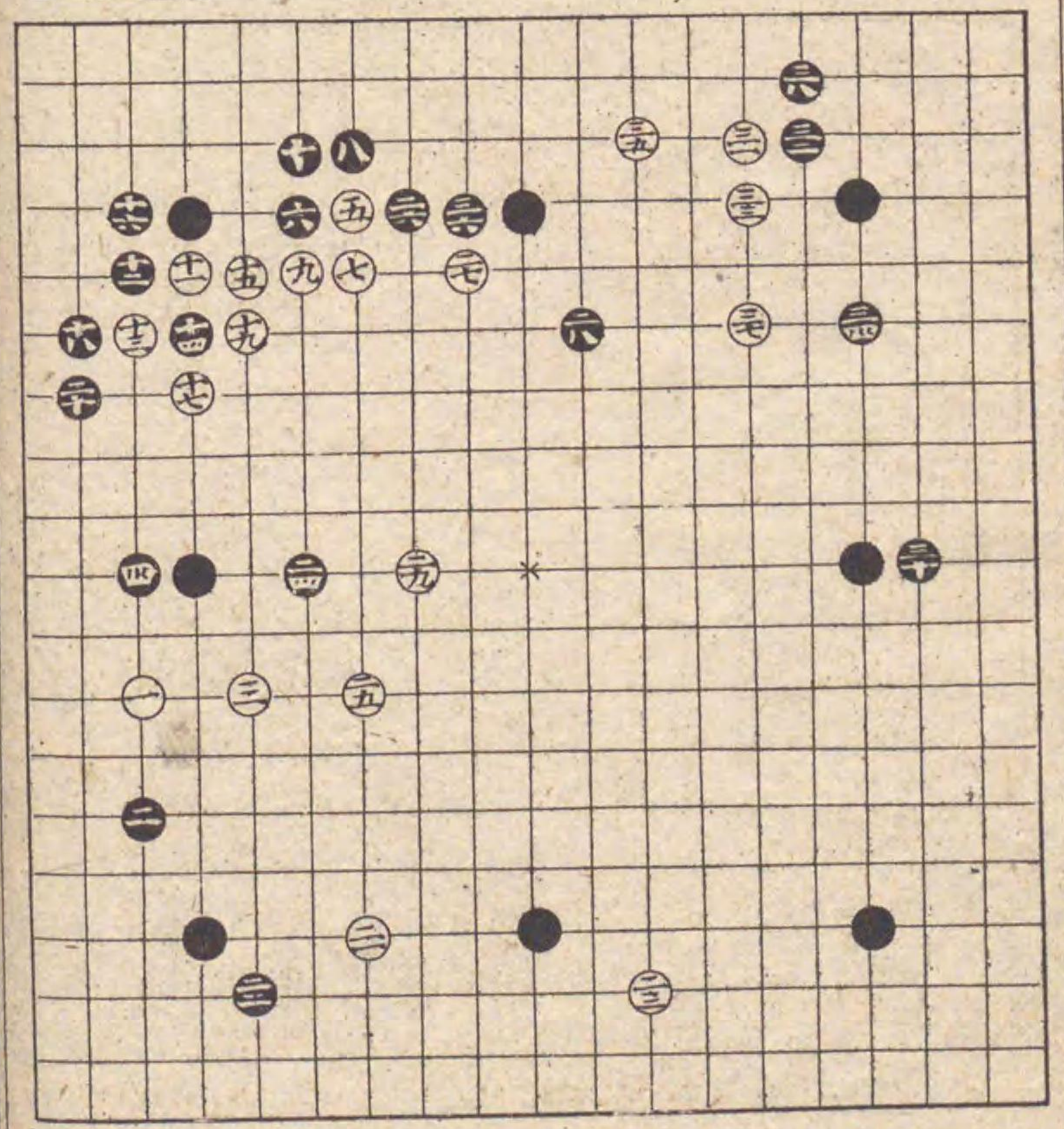


白の十九有故黒二二  
の手談別而面白し三二  
と打白次時三四と如  
斯打左右の白を留て  
打ハ黒大子吉心得見  
へし必勝の形なり  
十六吉

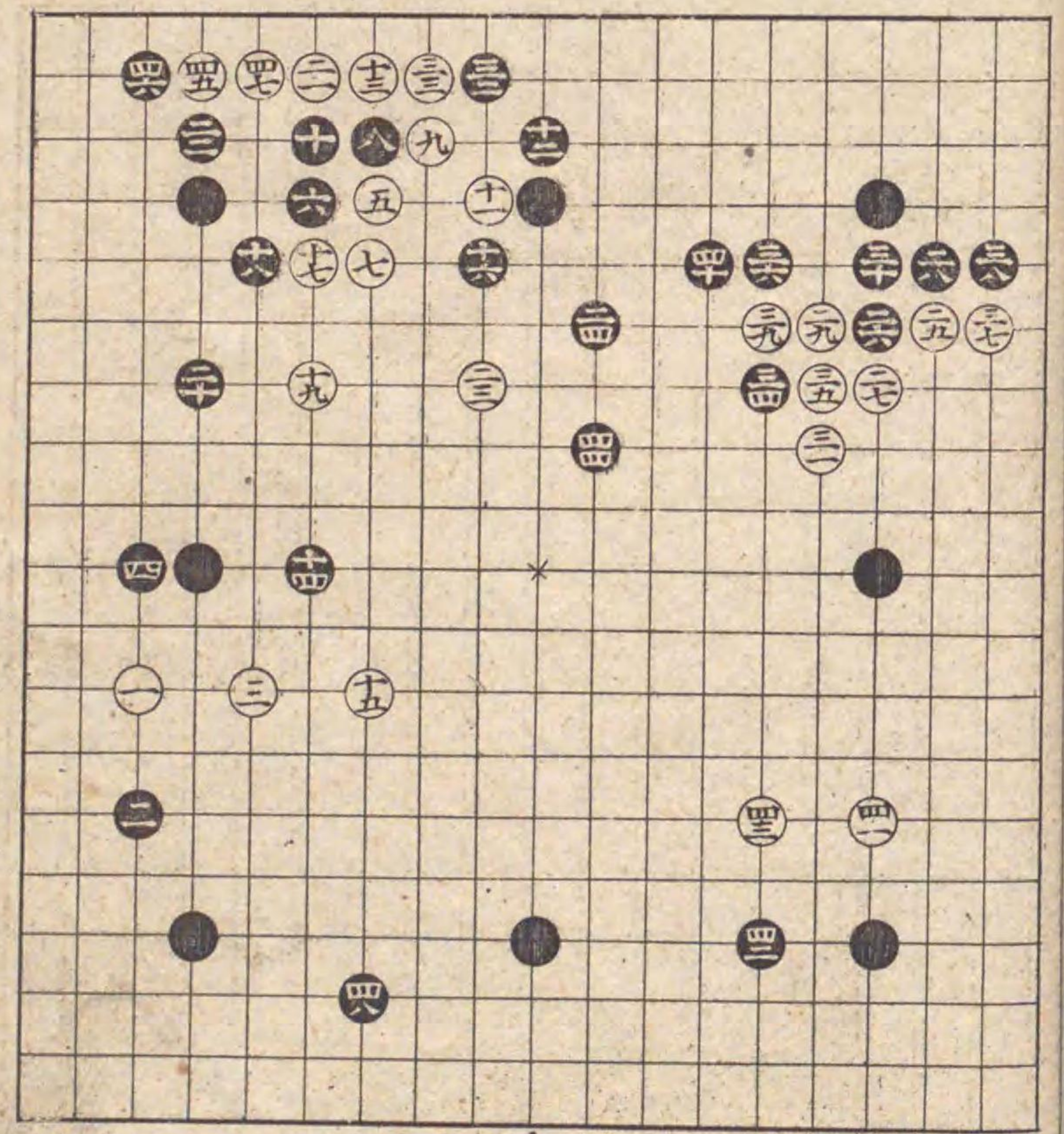




三十の手左右へ位を  
取手にて大位不打第  
一也常不有心得見へ  
し三八角を守り専ら  
白を薄くす手談  
り考見へしぬるき手  
の様なれども却て強  
し必勝の形也  
八吉  
二八吉  
三十吉



如是堅大位不打を白  
より手談なし考へ見  
べし必勝の形也  
十二吉  
十四吉  
十六吉  
二四吉  
四四吉





如是白下へ打やうな  
 趣向小なりてハ黒十  
 分ニ考へ見べし必勝  
 の形也  
 二二吉  
 五八吉  
 元劫とら

